

2026年度 学修の手引き

Hiroshima City University 2026 Student Handbook



目次

- ・目次「授業カレンダー」～「人材育成の目標及びポリシー」（5～20ページ）までは全学生向けです。
毎年更新されますので、最新の「学修の手引き」で情報を確認してください。
- ・目次「教育課程等」以降（21～108ページ）の情報は、2026年度入学生向けの情報です。
入学から卒業まで、この「2026年度 学修の手引き」を参照します。

はじめに	4
学修の手引きとは	4
授業カレンダー	5
学年暦	6
学籍等	7
学籍と学生証	7
修業年限と在学年限	7
卒業	7
学籍異動	8
証明書	8
授業等	9
科目の種類	9
単位	9
授業時間	9
開講区分	10
授業アンケート	10
教科書等	10
授業で利用するシステム	10
講義等を欠席する場合の手続き	10
休講・補講・教室変更などの通知	11
自然災害や交通機関の運休時の授業	11
障がいのある学生への支援	11
担任教員	12
出席登録	12
履修	13
はじめに	13
履修登録	14
希望資格登録	15
履修にあたっての注意事項	15
単位互換制度	16
試験と成績	17
はじめに	17
定期試験と随時試験	17
受験時の注意事項	17
不正行為	17
追試験	17
成績評価とGPA（Grade Point Average）制度	18
成績発表	19
成績評価に関する異議申立て	19

人材育成の目標及びポリシー	20
学士課程	20
各学部	20
教育課程等	21
【全学部共通】	21
教育課程	21
各種プログラム	22
地域志向特定プログラム	22
データサイエンス・リテラシープログラム	23
Q&A	24
【国際学部】	25
卒業要件	26
履修基準	27
卒業論文履修登録条件	28
教育課程表	29
全学共通系科目	29
外国語系科目	31
専門教育科目	32
専門基礎科目	32
専門科目	33
Q&A	41
【情報科学部】	42
卒業要件	43
履修基準	44
学科配属	45
進級要件	46
イノベーション人材育成プログラム	47
数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム	49
履修上限解除制度	49
早期卒業制度	50
教育課程表	51
全学共通系科目	51
外国語系科目	53
専門教育科目	55
専門基礎科目（4学科共通）	55
専門科目	56
情報工学科	56
知能工学科	59
システム工学科	62
医用情報科学科	65
Q&A	68
【芸術学部】	69
卒業要件	70
履修基準	71
卒業制作履修登録条件	71
教育課程表	72
全学共通系科目	72
外国語系科目	74

専門教育科目	76
専門基礎科目（2学科共通）	76
専門科目	78
美術学科 日本画専攻	78
美術学科 油絵専攻	79
美術学科 彫刻専攻	80
デザイン工芸学科	81
芸術学部 カリキュラム全体イメージ図	82
Q&A	83
教員養成課程	84
教員を目指す人へ	84
教育職員免許状受領資格取得関係科目表	87
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	87
教育の基礎的理解に関する科目等	88
大学が独自に設定する科目	88
教科及び教科の指導法に関する科目（国際学部）	89
国際学科	89
教科及び教科の指導法に関する科目（情報科学部）	93
情報工学科	93
知能工学科	95
システム工学科	97
医用情報科学科	99
教科及び教科の指導法に関する科目（芸術学部）	100
美術学科 日本画専攻	100
美術学科 油絵専攻	101
美術学科 彫刻専攻	102
デザイン工芸学科	103
Q&A	105
学芸員養成課程	106
学芸員を目指す人へ	106
学芸員資格取得関係科目表	106
Q&A	108
附属施設等の利用について	109
キャンパスマップ	110
あとがき	111

はじめに

学修の手引きとは

みなさんは、本学の教育課程（カリキュラム）に定められた科目を学修し、卒業に必要な単位を修得しなければなりません。この「学修の手引き」は、みなさんが学修目標や学修計画を立てるために必要な情報をすべて掲載しています。それぞれ熟読し、本学で「何をどう学んでいきたいか」を、自分自身で主体的に考え、本学での学びをより充実したものにしましょう。

利用にあたって

色の説明

この冊子は、本学のコミュニケーションマークで使われている国際学部・情報科学部・芸術学部のイメージカラーで色分けされています。

全学部

国際学部

情報科学部

芸術学部



【コミュニケーションマーク】

本学タグライン「3つのひかり 未来をつくる」からイメージしてデザインされました。固定観念にとらわれず、多角的な見地から可能性を模索していく3学部を表しています。

ワンポイント・アドバイス

みなさんの学修に役立つヒントを紹介しています。

インデックス

ページの右上には、縦スクロールでも分かりやすいようにインデックスをつけています。

ワンポイント・アドバイス

「教育課程等」の項目を読むときには、卒業要件と教育課程表を照らしながら確認をします。



<例>

卒業要件			
卒業するためには、原則4年以上在学し、次の卒業要件表に定める単位を修得しなければなりません。この要件は、卒業するまで有効です。必ず自身の入学年度の要件を確認してください。			
科目区分	卒業要件単位数		
地域志向科目	2単位以上	16単位以上	28単位
平和科目	2単位以上		
国際科目	6単位以上		
キャリア科目	2単位以上		
ICT科目	4単位		
外国語科目	6単位以上	124単位	
志学共通科目または外国語科目から選択	6単位		
専門教育科目	96単位	96単位	
専門科目			

全学共通系科目						
科目区分	授業科目名	単位数 必修 選択	開設年次	開設学期	備考	
地域志向科目	ひろしま論	2	1・2年	前期	◎	この中から最低2単位
	広島の産業と技術				◎	
	地域再生論入門				◎	
	NPO論				◎	
	地域課題演習	1	1・2年	逃年	◎	
平和科目	平和と人権A（ヒロシマと国際平和）	2	1・2年	前期		
	平和と人権B（現代世界と人権）	2	1・2年	後期		
	広島からの平和学：実践の方法	2	1・2年	前期		
	国際化時代の平和	2	1・2年	後期		
	「ヒロシマ」を考える	2	1・2年	後期		
数学		2	1・2年	後期		

2026年度 授業カレンダー

前 期								後 期							
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
4月	29	30	31	1	2	3	4	10月	27	28	29	30	1	2	3
	5	6	7	8	9	10	11		4	5	6	7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17	18		11	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24	25		18	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	29	水30	予1	2		25	26	27	28	29	30	31
5月	3	4	5	6	7	8	9	11月	1	2	3	4	火5	6	7
	10	11	12	13	14	15	16		8	9	10	11	12	13	14
	17	18	19	20	21	22	23		15	16	17	18	19	20	21
	24	25	26	27	28	29	30		22	23	24	25	26	27	28
6月	31	1	2	3	4	5	6	12月	29	30	1	2	3	4	5
	7	8	9	10	11	12	13		6	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19	20		13	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26	27		20	21	22	23	24	25	26
7月	28	29	30	1	2	3	4	1月	27	28	29	30	31	1	2
	5	6	7	8	9	10	11		3	4	5	6	7	8	9
	12	13	14	15	16	17	18		10	11	12	13	14	予15	16
	19	20	21	月22	23	24	25		17	18	19	20	21	22	23
8月	26	27	28	29	30	31	1	2月	24	25	金26	27	28	29	30
	2	3	4	5	6	予7	8		31	1	2	予3	予4	予5	6
	9	予10	11	予12	13	14	15		7	8	9	10	11	12	13
	16	17	18	19	20	21	22		14	15	16	17	18	19	20
9月	23	24	25	26	27	28	29	3月	21	22	23	24	25	26	27
	30	31	1	2	3	4	5		28	1	2	3	4	5	6
	6	7	8	9	10	11	12		7	8	9	10	11	12	13
	13	14	15	16	17	18	19		14	15	16	17	18	19	20
9月	20	21	22	23	24	25	26	3月	21	22	23	24	25	26	27
	27	28	29	30					28	29	30	31			

授業・試験実施

凡例

- * 太線枠内は、授業等を行う期間
(集中講義は太線枠外でも行う)
- * は、入学式、卒業式
- * は、授業等振替日
- * 予 は、授業予備日 (通常授業はなし)
- * は、第1・第3ターム科目の試験期間
(通年・セメスター科目は授業を行う)
- * は、期末試験日
- (予 は、試験予備日)
- * は、祝休日に授業・試験を行う日
- * は、全学休業日

クォーター期間

- ・ 第1ターム (4月8日～6月9日)
- ・ 第2ターム (6月10日～8月12日)
- ・ 第3ターム (10月1日～11月27日)
- ・ 第4ターム (11月28日～2月5日)

学内行事等

- (1) 春季入学式は4月2日 (木)、秋季入学式は10月1日 (木) とする。
- (2) オリエンテーションは、4月2日 (木) ～7日 (火) とする。
- (3) 6月14日 (日) の開学記念日は日曜日なので、振替日はなしとする。
- (4) 8月6日 (木) は、平和記念日のため休業とする。
- (5) 秋季卒業式は9月25日 (金)、春季卒業式は、3月23日 (火) とする。
- (6) 1月15日 (金) は授業を行わず大学入学共通テスト準備を行う。

授業関係

- ア 4月30日 (木)は、水曜日の授業を実施する。
- イ 5月1日 (金)は、授業予備日とする。(通常の授業はなし)
- ウ 7月22日 (水)は、月曜日の授業を実施する。
- エ 10月16日 (金)は、月曜日の授業を実施する。
- オ 11月5日 (木)は、火曜日の授業を実施する。
- カ 11月23日 (月・勤労感謝の日)は、月曜日の授業・試験を実施する。
- キ 1月26日 (火)は金曜日の授業を実施する。

学年暦 (2026年度)

		日 程	事 項		
前期 (4月1日～9月30日)	第1ターム (4月8日～6月9日)	4月 1日 (水) ～ 7日 (火)	春季休業		
		4月 2日 (木)	春季入学式		
		4月 2日 (木) ～ 7日 (火)	オリエンテーション		
		4月 2日 (木) ～ 7日 (火)	定期健康診断		
		4月 8日 (水)	前期授業開始		
		4月 2日 (木) ～15日 (水)	前期履修登録期間		
		4月8日 (水) ～14日 (火)、17日 (金)* 4月2日 (木) ～24日 (金)*	教科書販売 (冊子) 教科書販売 (電子)		
		4月22日 (水) ～24日 (金)	前期履修確認期間、第1ターム科目履修取消期間		
		4月30日 (木)	水曜日の授業実施		
		5月20日 (水) ～22日 (金)	前期・通年科目履修取消期間		
		6月 3日 (水) ～ 9日 (火)	第1ターム試験期間 (通年・セメスター科目は授業を行う)		
	第2ターム (6月10日～8月12日)	6月14日 (日)	開学記念日		
		6月24日 (水) ～26日 (金)	第2ターム科目履修取消期間		
		7月 6日 (月)*	第1ターム科目成績開示		
		7月22日 (水)	月曜日の授業実施		
		7月30日 (木) ～ 8月12日 (水)	前期定期試験		
		8月 6日 (木)	平和記念日 (全学休業日)		
		8月13日 (木) ～ 9月30日 (水)	夏季休業		
		8月17日 (月)	全学休業日		
		9月 1日 (火)*	前期・第2ターム科目成績開示		
		9月25日 (金)	秋季卒業式		
		9月24日 (木) ～10月 7日 (水)	後期履修登録期間		
		後期 (10月1日～3月31日)	第3ターム (10月1日～11月27日)	10月 1日 (木)	秋季入学式、後期授業開始
				10月1日 (木) ～7日 (水)、9日 (金)* 9月24日 (木) ～10月19日 (月)*	教科書販売 (冊子) 教科書販売 (電子)
				10月16日 (金)	月曜日の授業実施
				10月19日 (月) ～21日 (水)	後期履修確認期間、第2ターム科目履修取消期間
				10月24日 (土)・25日 (日)	大学祭
11月 5日 (木)	火曜日の授業実施				
11月 9日 (月) ～11日 (水)	後期科目履修取消期間				
11月23日 (月) ～27日 (金)	第3ターム試験期間 (通年・セメスター科目は授業を行う)				
11月23日 (月)・勤労感謝の日	月曜日の授業実施				
第4ターム (11月28日～2月5日)	12月14日 (月) ～16日 (水)		第4ターム科目履修取消期間		
	12月24日 (木)*		第3ターム科目成績開示		
	12月26日 (土) ～ 1月 3日 (日)		冬季休業		
	1月26日 (火)		金曜日の授業実施		
	1月27日 (水) ～ 2月 5日 (金)		後期定期試験		
	2月 6日 (土) ～ 3月31日 (水)		学年末休業		
	3月 2日 (火)		卒業判定結果の開示 (4年次)		
	3月 3日 (水)*		後期・第4ターム・通年科目成績開示		
	3月19日 (金)*		【国際・芸術】卒業論文・卒業制作着手判定結果開示(3年次)		
3月19日 (金)*	【情報】配属学科(1年次)、進級判定結果(1～3年次) 開示				
3月23日 (火)	春季卒業式				

*の日程は変更の可能性があります。いちばる (UNIPA) の掲示で別途お知らせしますので確認してください。

学籍等

学籍と学生証

学籍とは、本学における所属を示すものです。みなさんには、入学時に学籍番号が付与されます。この番号は学内の手続きや、成績などの学生個人に関する情報の管理に使われます。

みなさんには、学籍を証明するための学生証が交付されます。有効期間は入学時から4年間です。本学の学生であることを証明するものですので、常に携帯してください。また、学生証はICカードになっており、附属図書館への入館や研究室等の施錠などにも使われます。紛失した場合には、必ず最寄りの警察署と事務局教務グループに届け出ましょう。

学籍に関する手続き

学籍情報の変更

いちぼる（UNIPA）の「学籍情報変更申請」から、自身の住所や連絡先のほか、帰省先や保証人及び学資負担者、通学区間を届け出る必要があります。入学後または変更が生じたときには、速やかに申請してください。

学籍情報の確認

自身の学籍情報はいちぼる（UNIPA）の「学籍情報照会」から確認できます。大学に届けた連絡先等だけでなく、進級・卒業判定結果等を確認することもできます。

学生証に関する手続き

更新

4年を超えて引き続き在籍する場合は、毎年1年間有効の学生証を旧学生証と引き換えに交付します。

再交付

紛失、破損した場合は、事務局教務グループの窓口で「学生証再交付申請書」を記入します。再発行手数料として1,200円が必要です。

学生証を忘れたとき

試験の受験の際や、附属図書館で本を借りるときには学生証を提示する必要があります。忘れてしまった場合には、学内発行機で「仮学生証」を発行し、事務局教務グループで公印押印の手続きを受けてください。押印がない「仮学生証」は無効です。



修業年限と在学年限

修業年限

大学を卒業するために必要な期間で、学則で4年と定められています。

在学年限

大学に在学できる最大の期間で、学則で8年と定められています。在学年限を超えて、大学に在学することはできません。

卒業

4年以上在学し、教育課程に定める要件に沿って、必要な単位を修得した場合に卒業となり、以下の学位が授与されます。原則として、春季卒業（3月）となりますが、4年以上在学し、前期中に卒業に必要な単位を修得した場合には、秋季卒業（9月）となります。

学部	学科	学位
国際学部	国際学科	学士（国際学）
情報科学部	情報工学科	学士（情報科学） 又は
	知能工学科	
	システム工学科	学士（情報工学）
	医用情報科学科	
芸術学部	美術学科	学士（芸術）
	デザイン工芸学科	

学籍異動

休学

- ・病気など、やむを得ない理由により2か月以上修学が困難な場合には、所定の手続きにより、大学の許可を得て休学することができます。願出には、保証人の署名や担当教員との面談が必要になりますので、休学したい月の2～3か月前には事務局教務グループに相談してください。
- ・願出の最終期限は、休学を希望する日が属する月の前月末（前期中は3月末／後期中は9月末）です。
- ・休学期間は、在学年限には算入しません。
- ・1回の申請で認められる休学期間は1年までです。特別な理由がある場合には、さらに1年を限度として延長を申請することもできます。例えば、休学期間を延長して2年連続して休学した場合、それ以上の延長はできないため、一度復学する必要があります。なお、休学期間は通算して3年までです。
- ・休学期間中の授業料は免除されます（学期の途中から休学する場合を除く。）
- ・休学すると、学年は留め置きになります。例えば、2年次後期の半年間を休学した場合、翌前期に復学しても、学年は2年次のままとなり、3年次に開講される授業科目を履修することはできません。

復学

- ・休学期間中に休学する理由が消滅したときは、所定の手続きをにより、大学の許可を得て復学することができます。願出には、保証人の署名や担当教員との面談が必要になりますので、復学したい月の2～3か月前には事務局教務グループに相談してください。
- ・願出の最終期限は、復学を希望する日が属する月の前月末（前期中は3月末／後期中は9月末）です。
- ・予定していた休学期間が終了するときには、手続きなく自動的に復学になります。

留学

- ・長期派遣留学制度を利用して本学と海外学術交流協定を結んでいる協定校に留学する場合には、休学せずに留学することができます。長期派遣留学期間は、在学年限に算入されます。
- ・長期派遣留学制度の詳細は、以下のリンクから確認できます。
<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/overseas/category0001/c00018984/>

退学

- ・病気など、本人の意思や都合によって退学しようとする場合には、所定の手続きにより大学の許可を得る必要があります。願出には、保証人の署名や担当教員との面談が必要になりますので、退学したい月の2～3か月前には事務局教務グループに相談してください。
- ・願出の最終期限は、退学を希望する日が属する月の前月末（前期中は3月末／後期中は9月末）です。
- ・退学を希望する日が属する学期の授業料は納入されている必要があります。

除籍

授業料を納期限までに納付しない場合や在学年限を超えて在学しようとする場合等は、本人の意思とは関係なく、除籍となり学生の身分を失います。

転学部・転学科・転専攻

自分の所属する学部以外の学部、学科、専攻への転学部・転学科・転専攻を希望する場合、希望の学部等に欠員がある場合に限り、所定の手続きを経て転学部等を行うことができます。希望する者は、事務局教務グループに相談してください。なお、転学部等の時期は、原則として入学後1年を経過したときとします。

転学

他の大学等を受験し転学を希望する者は、事務局教務グループに所定の受験届を提出してください。

証明書

大学が発行する各種証明書は、証明書発行サービスを利用して提携コンビニエンスストアのマルチコピー機や、学内発行機、郵送などにより受け取ることができます。手続きの詳細は以下のリンクから確認できます。

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/campuslife/c00063499/>

<発行できる証明書の種類>

在学証明書

成績証明書

卒業見込証明書

学芸員資格取得見込証明書

教員免許状取得見込証明書

休学証明書

健康診断証明書

地域志向特定プログラム修了証明書

データサイエンス・リテラシープログラム修了証明書



授業等

科目の種類

授業科目は講義、演習、実験、実習、実技などに区分され、それぞれ授業時間や単位数が異なります。また、科目の性質によって以下のように区分されますので、よく理解しておくようにしましょう。授業科目の詳細は教育課程表を参照してください。

必修科目

卒業のために必ず単位を修得しなければならない科目です。

選択科目

卒業のため自身の教育課程表の中から、選択することができる科目で、修得単位は卒業要件単位に加算されます。卒業要件をよく理解したうえで選択する必要があります。

自由科目

興味関心に応じて自由に履修することができる科目です。例えば、資格取得関係科目が該当します。卒業要件単位には数えられませんので注意してください。

単位

それぞれの授業科目には単位数が決められています。1単位を修得するためには、教室内での授業等の時間及び教室外での自主的な学修時間を合わせて45時間の学修を行う必要があります。なお、45時間のカウントについては、講義、演習、実験、実習、実技によって原則的に次のようになっています。

区 分	大学の授業での学修時間	授業時間外の自主的な学修時間	合 計
講 義	15時間	30時間	45時間
演 習	30時間	15時間	45時間
実 験 実 習 実 技	30～45時間	0～15時間	45時間

授業時間

時限	授業時間
1時限	9：00～10：30
2時限	10：40～12：10
3時限	13：00～14：30
4時限	14：40～16：10
5時限	16：20～17：50
6時限	18：00～19：30

注) 通常の授業は1～5時限で行われます。

開講区分

授業科目は次の開講区分により開講されます。

開講区分	説明（開講期間）
通年科目	年間を通して開講
前期科目	前期半年間に開講
第1ターム科目	前期半年間の前半に開講
第2ターム科目	前期半年間の後半に開講
後期科目	後期半年間に開講
第3ターム科目	後期半年間の前半に開講
第4ターム科目	後期半年間の後半に開講
集中講義科目※	特定の期間に集中して開講

※ 基本的には、前期又は後期に開講する授業科目ですが、諸般の理由により長期休業期間（夏季休業、学年末休業）も含め集中開講となるものです。

授業アンケート

本学では、学生のみなさんが授業をどのように評価しているかを知り、授業の改善に役立てるために授業アンケートを実施しています。回答した個人が特定されることはありませんので、率直な意見を回答してください。詳細は学期末に[いちぼる \(UNIPA\)](#) の掲示でお知らせします。

教科書等

授業で使う教科書や参考書は、[いちぼる \(UNIPA\)](#) の「シラバス照会」から確認できます。また、一部の授業では電子教科書システムUniTextを利用します。指定の教科書は、学内の書店や販売サイトで購入できます。販売期間等は学年暦やいちぼる (UNIPA) の掲示で確認してください。なお、教科書等は附属図書館で借りることもできますが、冊数には限りがありますのでご注意ください。

授業で利用するシステム

[いちぼる \(UNIPA\)](#) で履修登録をすると、登録した授業の時間割や「クラスプロフィール」を確認できるようになります。クラスプロフィールでは、授業資料の確認や課題やテストの提出ができます。

そのほか、大学のアカウントで利用可能なMicrosoft TeamsやGoogle Classroomを使う場合もありますので、授業担当教員の指示に従ってください。

講義等を欠席する場合の手続き

病気やケガによる入院等、やむを得ない事情により講義等を欠席する場合は、その講義等の担当教員まで申し出てください。なお、感染症にかかった場合は以下のリンクから確認してください。

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/campuslife/content0069/>

休講・補講・教室変更などの通知

休講・補講・教室変更などがある場合には、[いちぼる \(UNIPA\)](#) で通知します。授業担当教員から直接連絡がある場合もあるため大学付与のメールアドレスも毎日チェックしましょう。

こうした通知や連絡を見なかったために皆さんに不利益が生じても、大学は責任を負いません。毎日通知や連絡を見る習慣を身に付けてください。

ワンポイント・アドバイス



掲示

いちぼる (UNIPA) の「掲示」では、大学からのお知らせが確認できます。

休講・補講・教室変更などの通知をはじめ、重要な手続きやイベントの案内、授業内の連絡など様々なお知らせが届きます。常に確認する習慣を付けましょう。

自然災害や交通機関の運休時の授業

暴風雨などの自然災害やストライキ等によって公共交通機関の運行に支障が生じたり、そのおそれがある場合は、状況に応じて授業を休講とする場合があります。その取扱いは次のとおりとします。

1. 授業の実施が困難な場合の判断基準

- (1) 広島地方気象台から広島市安佐南区に暴風警報、暴風雪警報又は気象等に関する特別警報のいずれかが発表された場合
- (2) 暴風雨などの自然災害やストライキ等により、ア又はイが発生した場合
ア アストラムライン及び高速4号線を通過する広島電鉄バスの双方が全面的に運行停止
イ JR山陽本線において広島駅又は横川駅を含む区間が運行停止

2. 休講の取扱い

- (1) 授業開始後に上記1のいずれかの事由が発生した場合は、その後に開始される授業を休講にします。
- (2) 授業開始前に上記1のいずれかの事由が発生している場合は、発生した時間により次のとおり休講とします。
 - 午前7時の段階で上記1の事由が発生している場合は、午前中の授業は休講
 - 午前10時の段階で上記1の事由が継続している場合は、午後の授業もすべて休講

3. 避難情報の「警戒レベル」について

災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、自治体から発令される避難情報の「警戒レベル」は、休講の判断基準となりませんが、本学・自分の居住地域・通学途上の地域に『避難指示』（警戒レベル4）以上が発令されている場合は、自分や家族の身の安全を最優先に考え、授業に出席するか欠席するかを判断してください。

欠席しても「欠席扱い」とはなりませんので、後日、担当教員に事情説明を行い、授業の指示を仰いでください。（定期試験の場合は、1週間以内に「追試験受験願」を事務局教務グループに提出してください。）

なお、本学は安佐南区の「緊急避難場所」に指定されています。

4. その他

上記1の判断基準に該当しない自然災害（地震など）及びそれに伴う公共交通機関の運行停止などが発生した場合の休講等についてはその都度お知らせします。

障がいのある学生への支援

心身に障がいのある学生が他の学生と同じように授業を履修し、大学生活を送れるよう合理的な配慮を行っています。配慮を希望する学生は、心と身体の相談センターの保健室または、相談室に相談してください。

申請の対象になるのかわからない、どんな配慮を希望してよいのかわからない、困っているけれどどこに相談したらよいのかわからない等、何でも相談できますので、まずは、気軽にお問い合わせください。

詳細はこちらから <https://www.hiroshima-cu.ac.jp/campuslife/category0006/c00032297/>

担任教員

大学生活で困ったことがあった場合に相談ができる担任教員制度を設けています。各学部の担任教員は次のとおりです。

学 部	担任教員
国際学部	1年次 基礎演習担当教員 2年次 発展演習担当教員 3年次 専門演習担当教員 4年次 卒論演習担当教員
情報科学部	1年次 各クラスのチューター 2～3年次（講座配属まで） 各学科のチューター 4年次（講座配属後） 各講座の教員
芸術学部	各学科・専攻の教員

※詳細は、別途お知らせします。

出席登録

授業の出席は、[いちぼる \(UNIPA\)](#) で登録します。どの授業も原則として登録必須ですが、授業担当教員から別途指示があれば、それに従ってください。出欠情報は、大学がみなさんの学修を適切に支援するために活用されます。学修状況に心配がある場合には、担当教員から本人に連絡をしたり、保証人や授業担当教員と連携を取るなどにより、みなさんの学修の継続を支援します。

【スマホ出席の方法】

- ① いちぼる (UNIPA) スマホ版にログインします。
- ② スマホ出席登録可能時間になると自動で出席登録画面 (図1) が表示されます。
「 出席登録する」 ボタンをタップします。
※原則、授業開始3分前から登録可能となります。
※授業によっては、認証コードが必要な場合があります。
- ③ 画面に「出席」 (図2) と表示されたら登録完了です。



(図1)



(図2)



履修

はじめに

履修とは、単位修得のため授業を受講することを意味します。履修する授業科目は、以下の資料を参考にしながら決定してください。4年間で何を、どう学びたいか学修目標を立てながら、予習や復習等の時間も考慮して計画的に履修しましょう。

● 学修目標を立てる

ディプロマ・ポリシー (20ページ) *

みなさんが卒業するとき、どんなことをできるようになっているのか、どんな力を身につけているのかを示しています。みなさんの学修目標の軸となります。

● 学修計画を立てる

卒業・進級要件 (26、43、46、70ページ) *

卒業・進級するために必要な要件です。必要な単位数とあわせて、必修の授業科目など、履修基準もあわせて確認しましょう。

教育課程表 (26～41、43～68、70～83ページ) *

学位を取得する(卒業する)ために学部・学科ごとに提供されている授業科目を表にしたものです。

[カリキュラムマップ \(Web公開\) *](#)

ディプロマ・ポリシーと各授業科目との関連性を示した表です。各授業科目が卒業までに身につけるべき力のどの項目と関連するのかが分かります。

カリキュラムツリー (シーケンス) (40、58、61、64、67、82ページ) *

各授業科目の関連性や対象年次、学修の順序などを図示したものです。教育課程(カリキュラム)全体を把握し、4年間の履修計画を立てる手掛かりになります。

● 履修する授業科目を決定する

[シラバス \(いちぼる \(UNIPA\)\)](#)

各授業科目の到達目標や授業計画、内容、成績評価基準などを示したものです。その授業科目で何が学べるのか、何が身に付くのかを知ることができます。また、授業科目を履修する上でのルールが示されているので、十分に理解しておくようにしましょう。

[時間割表及び集中講義日程表 \(Web公開/いちぼる \(UNIPA\)\)](#)

各授業科目の時間割表及び集中講義日程表は大学公式ウェブサイトやいちぼる (UNIPA) に公開されます。履修したい科目どうしの時間割が重複しているなど、時間割上の制約がある場合がありますので、先を見通して計画的に授業科目を決定しましょう。

* マークの資料は、入学年度により内容が異なります。

ワンポイント・アドバイス

履修について分からないことや迷うことがあるときは、そのままにせず、担任教員 (12ページ) や事務局教務グループに相談しましょう。また、履修登録期間中には、学生が履修に関する相談に応じるブースを本部棟1階ロビーに設けています。教職課程を履修している学部生や大学院生など、経験豊富な先輩学生からアドバイスが受けられます。気軽に利用してください。



履修登録

履修登録とは、履修しようとする授業科目を登録する手続きです。履修登録を行っていない授業科目は、必修科目であっても受講することはできないため単位を修得できません。登録内容の誤りなどにより進級や卒業ができなくなっても、自身の責任となります。以下の流れで手続きを行いますので、前述の資料や大学からの連絡事項に十分注意して、間違いのないように履修登録を行ってください。各期間の日程は、学年暦（6ページ）を確認しましょう。

STEP

1

履修登録期間

いちぼる (UNIPA) から手続きを行います。いちぼる (UNIPA) の操作マニュアルを参考に、指定の期間に正しく登録してください。前期の履修登録期間には、年間分（前期・後期の両方）の科目を一括して登録することができます。特に4年次生で当年度の卒業を予定している学生は、必ず年間分の登録をおこなってください。なお、前期に登録した後期開講科目は、後期の履修登録期間で修正できます。



- 履修登録すると、いちぼる (UNIPA) のクラスプロフィールから授業情報（講義資料など）が確認できます。
- 第2・4ターム科目や集中講義などの学期途中から始まる授業も、当該期間中に必ず登録してください。
- クラス分けのある授業などは、あらかじめ履修登録されている場合があります。内容に変更がある場合は事務局教務グループまでお問い合わせください。
- 履修内容にエラーがあるときは、必ず登録内容を見直し、必要に応じて修正をしてください。エラーの内容が分からない場合は、事務局教務グループまでお問い合わせください。

【よくあるエラーの内容】

- ・履修の上限単位数を超えている
- ・必修科目を登録していない
- ・必要要件単位を満たしていない

STEP

2

履修確認期間

履修確認期間はSTEP1の期間に登録した科目を変更・追加・削除できる期間です。いちぼる (UNIPA) から手続きを行います。変更内容は、事務局で確認した結果、却下される場合もあります。履修内容に変更がない場合、手続きは不要です。

自身の確認不足による登録誤りは、履修確認期間終了後に修正することができません（後述の履修登録取消制度で取消しをする場合を除く）ので注意してください。

STEP

3

履修確定

STEP1・2の期間を経て履修内容を確定します。履修確定後、当該年度内の卒業が見込まれる場合には、卒業見込証明書が発行できるようになります。

GPA制度 と履修

履修取消期間

履修取消期間は、一度履修登録を確定させた授業科目について、GPA制度（18ページ）に基づき、登録を取り消すことができる期間です。いちぼる (UNIPA) から手続きを行います。

授業の内容が自分の勉強したいものと違って、授業に対する知識が不足していることに気付いた、学修時間を確保するために履修科目数を減らしたい、といった場合に手続きを行いましょう。



- 必修科目やシラバスに取消不可と明記されている科目は取り消しできません。
- 集中講義科目は初回授業の2週間前まで履修取消ができます。当該期限以降の履修取消期間での取消はできませんので注意してください。手続きはいちぼる (UNIPA) の「Web申請」から行うことができます。

ワンポイント・アドバイス

いちぼる (UNIPA) の「Web申請」では、各種手続きについて案内しています。申請様式のダウンロードや、なかにはオンラインで申請できるものもあります。

希望資格登録

教育職員免許状の取得や学芸員を目指す人は、「希望資格登録」を行う必要があります。希望者は履修登録期間内にいちぼる（UNIPA）から必ず手続きをしてください。登録がない学生は、資格取得関係科目の履修ができなかったり、教職や学芸員資格に関するお知らせ等が配信されなかったりしますので注意してください。

履修にあたっての注意事項

(1) 履修の禁止

次の授業科目は履修することができません。

- ・履修登録をしていない授業科目
- ・既に単位を修得した授業科目

(2) 履修登録上限単位数

学修における予習・復習の時間を十分に確保し、一つひとつの授業科目の理解を深めるために、次のとおり1学期に履修できる単位数の制限を設けています。通年科目は、その単位数の1/2を1学期あたりの単位数として計算します。



履修登録上限単位数
24単位



MEMO
前期・後期授業期間中に実施する集中講義は、この上限単位数に含まれます。

<例外>

- 履修登録上限の対象とはならない授業科目
 - ・長期休業期間（夏季休業・学年末休業）に実施される集中講義
 - ・自由科目、資格取得関係科目
- 履修登録上限の対象とはならない学生
 - ・情報科学部で履修登録単位数の上限解除が認められた学生（所属学科の承認が必要です。）

(3) 下年次開設科目の履修（再履修）

下年次開設科目や、単位を修得できなかった授業科目は、次年度（または次学期）に再履修することができます。ただし、再履修にあたっては、担当教員の承認が必要となる場合があります。

(4) 他学部・他学科履修等

所属する学部以外の学部開設されている全学共通系科目あるいは所属する学部・学科・専攻以外の専門教育科目の履修を希望する場合は、以下の手順で手続きを行ってください。なお、他学部・他学科履修により修得した単位のうち、卒業要件として認められる単位の上限は10単位です。

他学部履修

所属する学部以外の学部開設されている授業科目の履修を希望する場合は、いちぼる（UNIPA）の「Web申請」から履修登録期間内に「他学部履修申請」を行ってください。

他学科履修（情報科学部のみ）

所属する学科以外の学科開設されている授業科目の履修を希望する場合は、必ず授業担当教員の承諾を得た上で、履修登録期間内にいちぼる（UNIPA）から履修登録を行ってください。無断で履修してはいけません。履修登録（14ページ）のSTEP2の期間までに教務委員による審査を行い、結果を通知します。審査の結果、却下される場合もあります。

また、自学科でも開設されている授業科目と同一名もしくは内容が同じと認められる他学科の授業を履修する場合には、「Web申請」から「代替履修許可申請書」をダウンロードし、履修登録期間内に事務局教務グループに提出してください。

(5) 遠隔授業の履修

授業の実施形態が「オンライン」または「オンデマンド」の授業について、卒業要件として認められる単位の上限は60単位（(4)および後述の単位互換制度により修得した単位を含む）です。授業の実施形態はシラバスで確認することができます。

単位互換制度

単位互換とは、本学以外の大学が提供する授業科目を受講して修得した単位を、本学の単位として認定する仕組みです。単位互換制度により修得した単位のうち、卒業要件として認められる単位の上限は60単位（前述の(4)および(5)により修得した単位を含む）です。

◆ 協定を結ぶ機関との単位互換

(1) 海外学術協定校への派遣留学

本学では海外の大学と協定・覚書を締結し、学生の交換留学を推進しています。派遣期間中に修得した単位は、学部での審査を経て、本学の単位に認定することができます。認定を希望する場合は、事務局教務グループにご相談ください。

また、協定校以外の大学に留学して単位を修得する場合でも認定できることがあります。希望する場合は、必ず留学前に事務局教務グループに確認してください。

<手続きに必要な書類>

- ・単位認定願（事務局教務グループで配布）
- ・成績証明書（原本）
- ・認定を希望する授業科目のシラバス
- ・認定を希望する授業科目の学修時間や単位数が分かるもの
- ・成績評価基準が分かるもの

※いずれも外国語で書かれたものであれば、日本語訳を添付すること

(2) 教育ネットワーク中国

本学では他大学との連携や、教育内容の充実を図る目的で一般社団法人「教育ネットワーク中国」が実施する単位互換制度に加入しています。広島県内の大学を中心に23の大学等が参加しており、各大学が提供する授業科目を単位互換科目として受講することができます。修得した単位は一部を除き、原則自由科目として認定されますが、学部によって科目の取扱いが異なるので、Webで公開される募集要項等を確認するようにしましょう。

（一社）教育ネットワーク中国 <https://www.enica.jp/>

◆ 既修得単位等認定

本学に入学する前に大学又は短期大学で修得した単位は、学部での審査を経て、全学共通系科目又は外国語系科目として認定することができます。入学した日から1か月以内に申請が必要です。認定を希望する場合は、事務局教務グループに早めに相談してください。

<手続きに必要な書類>

- ・既修得単位等認定願（事務局教務グループで配布）
- ・成績証明書（原本）
- ・認定を希望する授業科目のシラバス
- ・認定を希望する授業科目の学修時間や単位数が分かるもの
- ・成績評価基準が分かる

試験と成績

はじめに

授業科目の単位の認定は、原則として試験によって行われます。ただし、授業科目によっては担当教員の判断によって、レポートあるいはその他の課題を課すことにより試験に替える場合があります。いずれの場合も原則として出席回数が授業実施回数の3分の2以上なければ、評価の対象外となります。

定期試験と随時試験

- ◆ 試験は学期末等に期間を定めて実施する定期試験と、授業期間中に随時行う試験があります。
- ◆ 定期試験は、原則として出席回数が授業実施回数の3分の2以上なければ、当該授業科目の試験を受けることができません。

受験時の注意事項

- ◆ 定期試験の際は座席を指定する場合がありますので、早めに入室して自分の座席を確認してください。
- ◆ 受験の際は、担当教員の指示に従ってください。教員が指示したものの以外は机上に置くことはできません。
- ◆ 受験の際は、机上番号札の手前に学生証を置いてください。
- ◆ 学生証を忘れた場合は、試験開始までに事務局教務グループで仮学生証の交付を受けてください。
- ◆ 原則として試験開始後20分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。

不正行為

試験におけるカンニングや成績評価の対象となるレポート課題の剽窃行為（他人の文章等の盗用）などの不正行為を行った者には厳重に対処します。不正行為を行った場合は、原則としてその学期に履修した授業科目の全科目を不合格とする処分を行います。

追試験

定期試験を欠席した者に対しては特別な救済措置は行いません。ただし、以下に掲げる理由により、やむを得ず受験できなかった者は、受験できなかった理由を証明する書類を添え、追試験の申請を行うことができます。

- ◆ 本人の病気又は怪我
- ◆ 事故や自然災害等による公共交通機関の遅延
- ◆ 2親等以内の親族の葬儀への参列
- ◆ その他やむを得ない理由と副学長（教育・学生支援担当）が認めたもの

なお、追試験の実施日については原則として、欠席した試験日から3週間以内となっています。申請は欠席した試験日から1週間以内ですので追試験の実施を希望する場合は、速やかに事務局教務グループに相談してください。

ワンポイント・アドバイス

大学での学習において、生成系AIを利用する場合には、大学へ進学した目的や学習、課題の目的をよく考え、以下のことに注意しましょう。

- ・生成系AIによって生成されたものを、自分で考えたり、検証したりしないまま利用すると、自身の思考力・判断力・表現力等の能力の向上にはつながらないこと。
- ・レポート課題等や研究で利用すると、不正や盗作に問われる場合があること。
- ・自分や友人の住所などの個人情報を安易に入力しないこと。



成績評価と GPA (Grade Point Average) 制度

成績評価

成績は、試験、実技、実習、レポートの成績及び授業等への参加状況を総合して、「秀・優・良・可・不可 (S・A・B・C・D)」の5段階で評価されます。各授業科目の成績評価基準は、シラバスを参照してください。

GPA (Grade Point Average) 制度

成績評価の基準は大学によって様々ですが、みなさんの成績を一般的に分かりやすく示すためにGPA制度を導入しています。GPA (Grade Point Average) は、成績評価の平均点のことを指します。

① GPAの算出方法

成績評価を受けた授業科目毎の5段階評価を4から0までの点数 (GP : Grade Point) に置き換えて、次の計算方法により算出されます。



$$\text{GPA} = \frac{\text{(成績評価を受けた授業科目のGP(a) × 当該授業科目の単位数(b))の合計}}{\text{成績評価を受けた授業科目の単位数の合計}}$$

GPAは、成績評価を受けた学期ごとの「**学期GPA**」と、入学時から当該学期までの「**通算GPA**」に区分され、成績開示とともにいちぼる (UNIPA) の成績照会で確認することができます。過去に「不可」の成績評価を受けた科目であっても、その後単位を修得すれば、単位取得した評価に応じたGPに基づいて (「不可」の評価を「上書き」して) 通算GPAを算出します。

【GPAの計算例】

授業科目名	成績評価	GP (a)	単位数 (b)	a × b
〇〇概論	秀	4	2	8
〇〇学	優	3	2	6
□□演習	不可	0	2	0
△△実験	可	1	1	1
計			7	15

$$\text{GPA} = 15 \div 7 = 2.14$$

分子…a × bの合計 = 15

分母…成績評価を受けた授業科目の
総単位数 = 7

② GPAの対象とならない科目

- ・自由科目、資格取得関係科目等 (卒業要件単位数に含めることができない授業科目)
- ・編入学等で単位認定を受けた科目等 (5段階の成績評価によらない授業科目)

③ GPAの活用方法

- ・留学時の成績基準
- ・授業料減免や各種奨学金の対象者決定、特待生の選考等
- ・配属学科の決定や、履修科目登録単位数の特例に係る成績優秀者の認定、早期卒業の判定等 [情報科学部のみ]

【成績評価基準】

評価	GP	評点 (試験等の得点)	合 否	評価の説明
秀 (S)	4	90 ~ 100点	合 格	科目の到達目標を十分達成し、到達目標を超えた極めて優秀な成果をおさめている。
優 (A)	3	80 ~ 89点		科目の到達目標を十分達成している。
良 (B)	2	70 ~ 79点		科目の到達目標を達成している。
可 (C)	1	60 ~ 69点		科目の到達目標を最低限達成している。
不可 (D)	0	59点以下	不合格	科目の到達目標を達成していない。未受験を含む。

※定期試験を受験していない場合、定期試験に代わるレポート課題を提出していない場合、又は出席回数が授業の3分の2に満たない場合は、「欠不」と表示します。

成績発表

成績は、前期科目については9月中旬に、後期科目については3月上旬に発表します。発表は[いちぼる \(UNIPA\)](#)の掲示等でお知らせしますので、「成績照会」から確認してください。成績一覧表はPDFでダウンロードすることができます。

成績評価に関する異議申立て

成績評価に関して疑問や質問がある場合は、まず、授業担当教員に説明を求めてください。授業担当教員による説明に納得がいかない場合は、成績評価に関する異議申立てを行うことができますので、事務局教務グループに相談してください。

ただし、異議申立ての期間は、当該授業科目の成績開示後1週間以内となっていますので、注意してください。

なお、異議申立てに対する回答は、原則として、申立書受理日から2週間以内に行いますが、異議申立てに対する回答に対しての再異議申立てはできません。

人材育成の目標及びポリシー

「**人材育成の目標**」は、建学の基本理念である「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」に基づき、本学がどのような人材を育てるかを伝えるものです。これは、みなさんが卒業するときに、どんな人になってほしいかという大学からみなさんへのメッセージでもあります。

「**学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）**」は、人材育成の目標に基づき、どんな力を身につけた人に本学が学位を授与する（卒業を認める）のかを伝えるものです。本学での学びを通して、みなさんが卒業するときに、どんなことをできるようになっているのか、どんな力を身につけているのかを示しています。

「**教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）**」は、ディプロマ・ポリシーに掲げる力をみなさんが確実に身につけられるように、本学がどうしているかを考えて教育課程（カリキュラム）を編成しているかを伝えるものです。みなさんの教育課程を構成するさまざまな科目や条件が、どういう考え方のもとに設けられているのかを示しています。

本学では、大学（学士課程）全体の方針のもとに、学部ごとに「人材育成の目標」、「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」を定めています。自分の興味関心を大事にしながら、これらの方針を念頭において自身の学修目標を立ててみましょう。

学士課程

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探求への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

広島市立大学は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の知識・技能・能力を身に付けた上で当該学部が定める審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。

- ① 多様な文化・価値観を尊ぶための、人間、社会、自然、平和に関する幅広い教養と知識・技能を有している（知識・技能）
- ② 専門領域に関する体系的な知識・技能を身につけている（知識・技能）
- ③ 発見した問題について論理的に考え、判断することができる（思考力・判断力）
- ④ 自らの考えをわかりやすく表現する能力を身につけている（表現力）
- ⑤ 社会的課題の解決ないしは社会との関わりの中での創作活動に向けて主体的に取り組む姿勢を有している（主体性）
- ⑥ 他者と協働して取り組む姿勢を有している（協働性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

広島市立大学の学士課程における学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、教育課程を次のように編成する。

1. 人間、社会、自然、平和に関する幅広い教養と知識・技能を得るため、全学共通系科目を開設する。
2. 多様な文化・価値観に対する理解を深めるのに必要となる外国語によるコミュニケーション能力を養成するため、外国語系科目を開設する。
3. 各学部の理念と専門教育の特色に対応した専門教育科目を開設する。

各学部

各学部の「人材育成の目標」、「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」は大学公式ウェブサイトから確認できます。履修する授業科目を決定する前に、以下のリンクから確認をしてください。

https://www.hiroshima-cu.ac.jp/various_info/category0015/content0111/content0656/

教育課程等

【全学部共通】

教育課程

本学の教育課程は、全学共通系科目、外国語系科目、専門教育科目及び資格取得関係科目の大きく4つの区分で構成されています。授業科目の種類及び単位数については、各学部の教育課程表を参照してください。

教育課程は入学年度ごとに定められており、卒業要件や履修条件は原則として卒業するまで変わることはありません。ただし、教育課程表は改正により変更されることがあります。変更となった授業科目や新規授業科目の取扱いなどは読替表*として毎年度Webで公開されます。必ず確認して適切に履修しましょう。

※特に受講予定の授業科目が変更になる場合に代替りの授業科目を履修することで、変更前の科目を履修したことにする措置を科目の読替（よみかえ）といい、授業科目の変更一覧は読替表と呼ばれます。

1 全学共通系科目

「地域志向科目」、「平和科目」、「教養科目」、「キャリア科目」及び「ICT科目」で構成されています。

(1) 地域志向科目

広島と周辺圏域の歴史や文化・産業などを学ぶとともに地域課題へのアプローチを汎用的に学ぶ授業科目

(2) 平和科目

被爆体験を若い世代に継承するとともに平和と人権について多面的に学ぶ授業科目

(3) 教養科目

大学教育において必要となる汎用的技能の基礎を学ぶ授業科目、人文社会、自然科学、芸術に関する授業科目、体育・健康に関する授業科目

(4) キャリア科目

自らの将来（就職・進学等）について考えるための授業科目

(5) ICT科目

情報通信技術に関する基礎的な知識や技術を習得する授業科目

2 外国語系科目

「英語科目」と「英語以外の外国語系科目」（9言語）で構成されています。

3 専門教育科目

学部ごとに「専門基礎科目」と「専門科目」で構成されています。

4 資格取得関係科目

教員免許状の取得のための「教育職員免許状受領資格取得関係科目」と学芸員資格取得のための「学芸員資格取得関係科目」が開設されています。取得可能な資格等については、教員養成課程（84～105ページ）と学芸員養成課程（106～108ページ）を参照してください。

各種プログラム

本学の教育課程には、みなさんの可能性を広げる一歩として特定の分野をより深く学べる様々なプログラムを用意しています。プログラムの修了は卒業要件ではありませんが、卒業要件単位を修得しながら修了認定を受けられるプログラムですので、自身の興味関心と照らして積極的に取り組んでみましょう。

地域志向特定プログラム

「地域志向特定プログラム」は、地域に関して様々な視点から学びを深め、地域人材としての基礎をつくる「地域志向科目」で構成された教育プログラムです。【プログラム修了要件】を満たすことで、以下の能力の修得を目指します。さらに地域貢献に関するテーマで卒業論文・研究・制作の単位を修得した学生には、「ひろしま地域リーダー」の称号を授与します。

<修得を目指す能力>

- ① 地域の特性・課題を理解する能力
- ② 課題解決の方法を総合的視野から企画する能力
- ③ 自治体・企業・NPOなどとのネットワークを形成・調整する能力
- ④ ネットワークの中で自らの専門性を効果的に発揮する能力

【プログラム修了要件】

科目区分		必要単位数
A	地域志向科目（地域課題演習を除く）	4単位以上
B	地域課題演習	いずれか 1単位以上
	専門演習（地域実践演習）【国際学部】	
	課題解決型演習【情報科学部】	
	地域実践演習【芸術学部】	
C	各学部専門教育科目において指定する「地域志向科目」（Bの授業科目を除く）	2単位以上
（上記最低単位数合計の不足）A、B、Cのいずれかから		1単位以上

※要件を満たす単位を修得した学生には、希望により「地域志向特定プログラム修了証明書」を交付します。

【地域志向特定プログラム授業科目】 ※教育課程表の備考欄にⒹマークのある科目

科目区分	地域志向特定プログラムの区分	授業科目名（単位数）	開設年次及び学期
全学共通系科目	地域志向科目	A	ひろしま論(2)、地域再生論入門(2)、NPO論(2)
		B	広島の産業と技術(2)
国際学部専門教育科目	演習	B	地域課題演習(1)
			専門演習Ⅰ(1)(地域実践演習)
		専門演習Ⅱ(1)(地域実践演習)	
	C	公共政策・NPOプログラム	非営利組織論Ⅰ(2)、ローカル・ガバナンス論(2)
		多文化共生プログラム	非営利組織論Ⅱ(2)、地域再生論(2)
国際ビジネスプログラム		フィールドワーク論(2)	
情報科学部専門教育科目	専門基礎・専門科目(4学科共通)	B	経営史(2)
		C	課題解決型演習(1)
			観光情報学(2)
芸術学部専門教育科目	専門基礎科目	B	システム開発実践(2)
		C	地域実践演習(1)
			アートマネージメント概論(2)
			造形応用研究Ⅰ(2)
		造形応用研究Ⅱ(2)	

以下は国際学部生の履修例です。

科目区分		地域志向特定プログラムの区分	授業科目名	合計単位数
地域志向科目		A	ひろしま論、地域再生論入門	4
		B	地域課題演習	1
国際学部 専門教育科目	公共政策・NPOプログラム	C	非営利組織論Ⅰ，非営利組織論Ⅱ	4

【単位互換制度の活用について】

プログラム区分Aの修得要件については、教育ネットワーク中国の単位互換制度を活用し、他大学で開講される「単位互換科目」を履修して満たすことも可能です。詳しくは事務局教務グループへ問い合わせてください。

データサイエンス・リテラシープログラム

情報通信技術の進歩は、膨大なデータ（ビッグデータ）を生み出し、各種生成系AIの登場を可能としました。「データサイエンス・リテラシープログラム」は、このような新しい情報通信技術を扱うことができる人材の育成する教育プログラムです。

<到達目標>

1. 今後のデジタル化社会の基礎知識となる、数理・データサイエンス・AIについての基礎知識を身に付ける。
2. 身につけた基礎知識を活用できるようになる。

【データサイエンス・リテラシープログラム授業科目】

科目区分	授業科目名（単位数）	開設年次及び学期
ICT科目	データサイエンス（2）	1・2年 後期

【プログラム修了要件】

「データサイエンス」の単位修得

※要件を満たす単位を修得した学生には、希望により「データサイエンス・リテラシープログラム修了証明書」を交付します。

Q & A



Q：地域志向特定プログラムやデータサイエンス・リテラシープログラムは必修ですか。

A：必修ではありません。自身の興味関心と照らして、取り組むかどうかを選択できます。
なお、情報科学部の学生は、データサイエンス・リテラシープログラムは必修です。



Q：プログラムの修了証明書の交付を希望するときは、どのようにすればよいですか。

A：事務局教務グループに交付を希望することをお申し出いただくと、具体的な手続きの案内があります。



国際学部

【国際学部】

卒業要件

卒業するためには、原則4年以上在学し、次の卒業要件表に定める単位を修得しなければなりません。
この要件は、卒業するまで有効です。必ず自身の入学年度の要件を確認してください。

科目区分			卒業要件単位数			
全学共通系科目	地域志向科目		2単位以上			
	平和科目		2単位以上			
	教養科目		7単位以上			
	キャリア科目		1単位以上			
	ICT科目		2単位以上			
全学共通系科目（地域志向科目、平和科目、教養科目、キャリア科目、ICT科目）のいずれかから選択			2単位			
外国語系科目			12単位以上			
専門教育科目	専門基礎科目	ベーシック入門科目	2単位以上			
		ベーシック演習科目	3単位			
		英語スキルアップ科目	4単位			
	専門科目	5プログラム科目		74単位以上		
		アクティブ科目	国際交流	2単位以上	6単位以上	93単位以上
			インターンシップ			
			演習	4単位		
	特別演習・特別講義		—			
卒業論文		4単位				
全学共通系科目、外国語系科目 または 専門教育科目 から選択			3単位			
			3単位			

124単位

【卒業要件表の読み方】

- ・必要単位数が「～単位以上」と指定されている科目区分は、指定の単位数を超えて単位を修得した場合でも、制限まで卒業要件単位として数えられます。
- ・「～単位」と指定されている科目区分は、指定の単位数までしか卒業要件単位としては数えられません。

履修基準

1. 全学共通系科目

必要単位数は卒業要件表のとおりです。必修科目は以下のとおりです。

【必修科目】

科目区分	授業科目名 (単位数)	単位	開設年次	備考	合計単位
教養科目	3学部合同基礎演習	1単位	1年	いずれかを選択	5単位
	体育実技Ⅰ (1)	健康科学 (2) または 心の健康・ 身体の健康 (2)	1年		
	体育実技Ⅱ (1)		1・2年		
ICT科目	情報活用基礎	2単位	1年		

2. 外国語系科目

以下の基準に従い、卒業までに必修8単位、選択4単位の計12単位以上修得する必要があります。

必修 (8単位)	英語科目	「英語総合演習Ⅰ」、「英語総合演習Ⅱ」、「英語応用演習Ⅰ」、「英語応用演習Ⅱ」(各1単位)をすべて修得	4単位
	第二外国語科目	アラビア語、イタリア語、スペイン語、中国語、ドイツ語、ハングル、フランス語、ロシア語の8言語の中から同一言語を一つ選択し、ⅠからⅣ(各2単位)のうち2科目の単位を修得(日本語の授業は留学生のみ対象)	4単位
いずれか選択 (4単位)	選択1：英語科目	「英語総合演習Ⅲ」、「英語総合演習Ⅳ」、「英語応用演習Ⅲ」、「英語応用演習Ⅳ」(各1単位)をすべて修得	4単位
	選択2：第二外国語科目	上記、必修で修得した第二外国語科目の同一言語を選択し、ⅠからⅣ(各2単位)のうち残りの2科目の単位を修得(日本語の授業は留学生のみ対象) ※「選択2」の場合は、ⅠからⅣ(各2単位)まですべて修得することになります。	4単位

基準に当てはめると履修パターンは、英語を主として履修するパターンと、同一言語の第二外国語を主として履修するパターンのいずれか2つです。なお履修パターンは、最低限の要件を満たすもので、これを踏まえたうえで、さらに外国語系科目を履修することもできます。

<英語を主とする履修するパターン>青：選択必修

年次	学期	履修する授業科目 (カッコ内は単位数)			合計単位
1年次	前期	英語総合演習Ⅰ (1)	英語応用演習Ⅰ (1)	第二外国語Ⅰ (2)	計12単位
	後期	英語総合演習Ⅱ (1)	英語応用演習Ⅱ (1)	第二外国語Ⅱ (2)	
2年次	前期	英語総合演習Ⅲ (1)	英語応用演習Ⅲ (1)		
	後期	英語総合演習Ⅳ (1)	英語応用演習Ⅳ (1)		

<同一の第二外国語を主とする履修パターン>青：選択必修

年次	学期	履修する授業科目 (カッコ内は単位数)			合計単位
1年次	前期	英語総合演習Ⅰ (1)	英語応用演習Ⅰ (1)	第二外国語Ⅰ (2)	計12単位
	後期	英語総合演習Ⅱ (1)	英語応用演習Ⅱ (1)	第二外国語Ⅱ (2)	
2年次	前期			第二外国語Ⅲ (2)	
	後期			第二外国語Ⅳ (2)	

※異なる言語の組み合わせで第二外国語をⅠからⅣまで8単位修得しても、同一言語でなければ基準を満たしませんので注意してください。

3. 専門教育科目

国際学部の専門教育科目は「専門基礎科目」と「専門科目」により構成されています。また、専門科目は、5プログラム科目、アクティブ科目、卒業論文、その他により構成されています。その履修基準は以下のとおりです。

(1) 専門基礎科目

必修9単位を含む9単位以上

必修：専門基礎科目のうち、データ分析入門以外

選択必修：データ分析入門

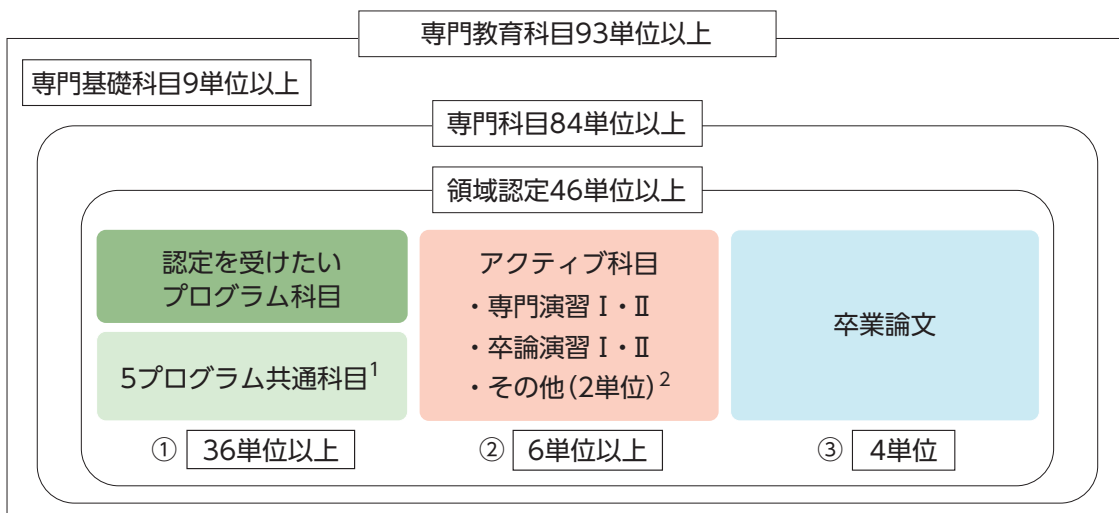
(2) 専門科目

必修8単位を含む84単位以上

必修：「専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ」（各1単位、計2単位以上）、「卒論演習Ⅰ、卒論演習Ⅱ」（各1単位、計2単位）、「卒業論文」（4単位）

(3) 「領域」の認定

5プログラム科目のうち、【①ひとつのプログラム科目（2つ以上のプログラム科目に共通する授業科目を含む）と5プログラム共通科目（地域研究等）から36単位以上】を履修し、かつ、【②アクティブ科目から6単位以上】と【③卒業論文4単位】の計46単位以上を履修して、当該プログラムの「領域」を専門に履修したことの認定を受けることが卒業要件です。



¹ ①のうち8単位まで加算できます。(超過した場合は①には加算されませんが、専門科目の累計に加算されます。)

² アクティブ科目のうち「国際交流」または「インターンシップ」から履修するか、2つのゼミを履修し、専門演習Ⅰ・Ⅱを各2単位履修することもできます。(超過したアクティブ科目は専門科目の累計に加算されます。)

※ 授業科目によっては、2つ以上のプログラムに共通する授業科目もあり、教育課程表の「備考欄」に下記の略号を付記しています。

略号：政治 公共 多文化 ビジネス 言語

卒業論文履修登録条件

4年次に進級し、卒業論文の履修登録を行うためには、以下のいずれかの条件を満たす必要があります。卒業論文は必修科目であり、履修登録ができないことは卒業延期となることを意味します。3年次までに計画的に単位を修得するようにしてください。

(1) 次に掲げる条件を満たす者

3年次末において卒業の要件となる124単位のうち、90単位以上を修得していること

(2) 教授会で認められた者

教育課程表

開設年次は、当該科目を履修するのに適切な年次を示しています。例えば開設年次が1・2年の科目は、1年次または2年次のいずれかで履修時期を決めることが推奨されているものです。こうした場合であっても、自身の履修計画により、3年次以降に当該科目を履修（下年次履修）することも可能です。

全学共通系科目

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
地域志向科目	ひろしま論		2	1・2年	前期	Ⓓ
	広島産業と技術		2	1・2年	後期	Ⓓ
	地域再生論入門		2	1・2年	前期	Ⓓ
	NPO論		2	1・2年	前期	Ⓓ
	地域課題演習		1	1・2年	通年	Ⓓ
平和科目	平和と人権A（ヒロシマと国際平和）		2	1・2年	前期	
	平和と人権B（現代世界と人権）		2	1・2年	後期	
	広島からの平和学：実践の方法		2	1・2年	前期	
	国際化時代の平和		2	1・2年	後期	
	「ヒロシマ」を考える		2	1・2年	後期	
教養科目	哲学		2	1・2年	後期	
	世界の宗教		2	1・2年	前期	
	心理学		2	1・2年	後期	
	歴史学		2	1・2年	前期	
	現代史		2	1・2年	前期	
	法学（日本国憲法）		2	1・2年	前期	
	政治学		2	1・2年	後期	
	経済学		2	1・2年	前期	
	社会学		2	1・2年	前期	
	文化人類学		2	1・2年	後期	
	自然人類学		2	1・2年	前期	
	経営学		2	1・2年	後期	
	数学概論		2	1・2年	前期	
	物理学概論		2	1・2年	前期	
	化学概論		2	1・2年	後期	
	生物学概論		2	1・2年	前期	
	情報科学概論		2	1・2年	後期	
	地球環境論		2	1・2年	前期	
	情報社会論		2	1・2年	後期	
	デッサン概論		2	1・2年	前期	
油絵入門		2	1・2年	第2ターム		

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
教養科目	日本画入門		2	1・2年	第2ターム	
	立体造形概論		2	1・2年	後期	
	デザイン工芸概論		2	1・2年	前期	
	創作と人間		2	1・2年	後期	
	コンピュータとアート		2	2年	後期	
	3学部合同基礎演習	1		1年	前期	
	健康科学		2	1年	前期	
	心の健康・身体の健康		2	1・2年	前期	
	体育実技Ⅰ		1	1年	前期	注1
	体育実技Ⅱ		1	1年	後期	注1
キャリア科目	キャリアデザインⅰ		1	1・2年	第1ターム	
	キャリアデザインⅱ		1	1・2年	第4ターム	
	仕事体験演習		1	1・2年	通年	
	キャリアサポートベーシックA		1	2・3年	前期	
	キャリアサポートベーシックB		1	2・3年	後期	
	国際交流演習Ⅰ		1	全学年	通年	
	国際交流演習Ⅱ		1	全学年	通年	
	国際交流演習Ⅲ		1	全学年	通年	
国際交流演習Ⅳ		1	全学年	通年		
ICT科目	情報活用基礎	2		1年	前期	
	データサイエンス		2	1・2年	後期	

注1 「体育実技Ⅰ」の種目は初回の授業で、「体育実技Ⅱ」の種目は「体育実技Ⅰ」の最終授業で、希望調査を行い決定する。

再履修を希望する場合で、希望調査時に回答できなかった場合には、個別に担当教員に相談すること。

外国語系科目

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
英語科目	英語総合演習Ⅰ	1		1年	前期	
	英語総合演習Ⅱ	1		1年	後期	
	英語総合演習Ⅲ		1	2年	前期	
	英語総合演習Ⅳ		1	2年	後期	
	英語応用演習Ⅰ	1		1年	前期	
	英語応用演習Ⅱ	1		1年	後期	
	英語応用演習Ⅲ		1	2年	前期	
	英語応用演習Ⅳ		1	2年	後期	
英語以外の 外国語系科目	ドイツ語Ⅰ		2	1年	前期	
	ドイツ語Ⅱ		2	1年	後期	
	ドイツ語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2
	ドイツ語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2
	フランス語Ⅰ		2	1年	前期	
	フランス語Ⅱ		2	1年	後期	
	フランス語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2
	フランス語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2
	中国語Ⅰ		2	1年	前期	
	中国語Ⅱ		2	1年	後期	
	中国語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2
	中国語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2
	ハングルⅠ		2	1年	前期	
	ハングルⅡ		2	1年	後期	
	ハングルⅢ		2	1・2年	前期	注2
	ハングルⅣ		2	1・2年	後期	注2
	アラビア語Ⅰ		2	1年	前期	
	アラビア語Ⅱ		2	1年	後期	
	アラビア語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2
	アラビア語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2
	ロシア語Ⅰ		2	1年	前期	
	ロシア語Ⅱ		2	1年	後期	
	ロシア語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2
	ロシア語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2
イタリア語Ⅰ		2	1年	前期		
イタリア語Ⅱ		2	1年	後期		
イタリア語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2	
イタリア語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2	

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
英語以外の 外国語系科目	スペイン語Ⅰ		2	1年	前期	
	スペイン語Ⅱ		2	1年	後期	
	スペイン語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2
	スペイン語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2
	日本語Ⅰ		2	1年	前期	注3
	日本語Ⅱ		2	1年	後期	注3
	日本語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2 注3
	日本語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2 注3

注2 1年次が履修する場合は、科目担当教員の承認が必要である。

注3 外国人留学生対象の科目であり、日本人学生は履修することはできない。

専門教育科目

専門基礎科目

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
ベーシック入門科目	国際研究入門	2		1年	前期	
	データ分析入門		2	1年	後期	
ベーシック演習科目	基礎演習	1		1年	後期	
	発展演習Ⅰ	1		2年	前期	
	発展演習Ⅱ	1		2年	後期	
英語スキルアップ科目	英語スキルアップⅠ	2		2年	前期	
	英語スキルアップⅡ	2		2年	後期	

専門科目（5プログラム科目）

国際政治・平和プログラム

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目 5プログラム科目	国際関係論		2	1年	前期	
	国際関係史入門		2	1年	後期	
	平和研究Ⅰ		2	1年	後期	
	国際安全保障論		2	2年	前期	
	比較政治学		2	2年	前期	
	国際協力論Ⅰ		2	2年	前期	公共
	国際協力論Ⅱ		2	2年	後期	公共
	国際社会論Ⅰ		2	2年	前期	多文化
	国際社会論Ⅱ		2	2年	後期	多文化
	平和研究Ⅱ		2	2年	前期	
	平和研究Ⅲ		2	2年	後期	
	国際関係史（中国）Ⅰ		2	2年	前期	
	国際関係史（中国）Ⅱ		2	2年	後期	
	国際法		2	2年	後期	
	国際政治理論		2	2年	後期	
	国際政治学		2	2年	後期	
	Learning IILs		2	2年	前期	
	Contemporary Political Issues		2	2年	後期	
	History of Japanese Politics and Diplomacy		2	2年	後期	
	Peace and Conflict Studies		2	2年	前期	
	日本史概論Ⅱ		2	2年	後期	多文化
	世界史概論Ⅱ		2	2年	後期	多文化
	国際人権法		2	3年	前期	
	民族国家論Ⅰ		2	3年	前期	
	民族国家論Ⅱ		2	3年	後期	
	開発政治論Ⅰ		2	3年	前期	公共
	開発政治論Ⅱ		2	3年	後期	公共
	紛争解決論Ⅰ		2	3年	前期	
	紛争解決論Ⅱ		2	3年	後期	
	国際機構論Ⅰ		2	3年	前期	
	国際機構論Ⅱ		2	3年	後期	
	国際関係史（日本）Ⅰ		2	3年	前期	
	国際関係史（日本）Ⅱ		2	3年	後期	
	国際関係史（朝鮮半島）Ⅰ		2	3年	前期	
国際関係史（朝鮮半島）Ⅱ		2	3年	後期		
国際関係史（アメリカ）Ⅰ		2	3年	前期		
国際関係史（アメリカ）Ⅱ		2	3年	後期		
国際関係史（ロシア）Ⅰ		2	3年	前期		
国際関係史（ロシア）Ⅱ		2	3年	後期		
日本社会と人権		2	3年	後期	多文化	

公共政策・NPOプログラム

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目 5プログラム科目	公共政策・NPO入門		1	1年	第3ターム	
	マクロ経済学Ⅰ		2	1年	後期	
	国際開発学		2	1年	後期	政治
	生涯学習概論		2	1年	後期	
	公共政策論		2	1年	後期	
	地理学概論		2	1年	後期	多文化
	ミクロ経済学Ⅰ		2	1年	後期	ビジネス
	ミクロ経済学Ⅱ		2	2年	前期	ビジネス
	基本統計学		2	2年	前期	
	開発社会学		2	2年	前期	多文化
	非営利組織論Ⅰ		2	2年	前期	ビジネス ^地
	非営利組織論Ⅱ		2	2年	後期	ビジネス ^地
	現代社会と法Ⅰ		2	2年	前期	
	現代社会と法Ⅱ		2	2年	後期	
	経済政策論Ⅰ		2	2年	前期	政治
	経済政策論Ⅱ		2	2年	後期	
	マクロ経済学Ⅱ		2	2年	後期	
	スポーツ開発論		2	2年	後期	ビジネス
	健康心理学		2	2年	後期	
	比較教育学		2	2年	後期	
	地域再生論		2	2年	後期	ビジネス ^地
	環境社会学		2	2年	後期	多文化
	地方自治論		2	2年	前期	
	ローカル・ガバナンス論		2	2年	前期	ビジネス ^地
	Public Administration and Local Governance in Japan		2	2年	前期	
	比較法制度Ⅰ		2	3年	前期	
	比較法制度Ⅱ		2	3年	後期	
行政学		2	3年	後期		

多文化共生プログラム

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目 5プログラム科目	多文化共生入門		2	1年	前期	
	社会文化思想史Ⅰ		2	1年	後期	政治
	日本史概論Ⅰ		2	1年	後期	政治
	芸術文化論		2	2年	後期	言語
	フィールドワーク論		2	2年	前期	言語・公共④
	ジェンダーとセクシュアリティ		2	2年	前期	
	社会文化思想史Ⅱ		2	2年	前期	
	マス&ソーシャルメディア論		2	2年	前期	政治
	世界史概論Ⅰ		2	2年	前期	政治
	比較文化論Ⅰ		2	2年	前期	
	比較文化論Ⅱ		2	2年	後期	
	文化交流史Ⅰ		2	2年	前期	
	文化交流史Ⅱ		2	2年	後期	
	共生の哲学Ⅰ		2	2年	前期	
	共生の哲学Ⅱ		2	2年	後期	
	Premodern Japanese Studies		1	2年	第2ターム	
	労働と社会		2	2年	後期	
	メディア・リテラシー		2	2年	後期	
	East Asian Cultures and Societies		2	2年	後期	
	Hiroshima and Atomic Bombing in Media		2	2年	前期	
	Future StudiesⅠ		2	2年	後期	
	エスニシティと宗教Ⅰ		2	2年	後期	
	エスニシティと宗教Ⅱ		2	3年	前期	
	比較民族学Ⅰ		2	3年	前期	
	比較民族学Ⅱ		2	3年	後期	
	Future StudiesⅡ		2	3年	前期	
Exploring Japanese Society		2	3年	前期		

国際ビジネスプログラム

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目 5プログラム科目	国際ビジネス入門		2	1年	前期	
	会計学Ⅰ		2	1年	後期	
	International Commerce		2	1年	後期	
	会計学Ⅱ		2	2年	前期	
	経営戦略論		2	2年	前期	
	人的資源管理論		2	2年	前期	
	国際経営論Ⅰ		2	2年	前期	
	国際経営論Ⅱ		2	2年	後期	
	マーケティング論Ⅰ		2	2年	前期	公共
	マーケティング論Ⅱ		2	2年	後期	
	多国籍企業論Ⅰ		2	2年	前期	
	多国籍企業論Ⅱ		2	2年	後期	
	財務管理論Ⅰ		2	2年	前期	
	財務管理論Ⅱ		2	2年	後期	
	経営史		2	2年	第4ターム	地
	公会計論		2	2年	後期	公共
	国際会計論		2	2年	後期	
	経営組織論		2	2年	後期	
	International Business		2	2年	後期	
	Introduction to Management		2	2年	後期	
	金融論		2	2年	後期	公共
	国際貿易論		2	3年	前期	
	国際金融論Ⅰ		2	3年	前期	公共
	国際金融論Ⅱ		2	3年	後期	
	国際取引と法Ⅰ		2	3年	前期	公共
	国際取引と法Ⅱ		2	3年	後期	
	テクノロジーマネジメント		2	3年	後期	

言語・コミュニケーションプログラム

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目 5プログラム科目	言語・コミュニケーション研究入門A		1	1年	第3ターム	
	言語・コミュニケーション研究入門B		1	1年	第4ターム	
	英語学習論Ⅰ		2	2年	前期	
	英語学習論Ⅱ		2	2年	後期	
	フランスの文学と文化		2	2年	前期	多文化
	応用言語論Ⅰ		2	2年	前期	
	応用言語論Ⅱ		2	2年	後期	
	日本語学・日本語教育学Ⅰ		2	2年	前期	
	日本語学・日本語教育学Ⅱ		2	2年	後期	
	翻訳論Ⅰ		2	2年	前期	
	翻訳論Ⅱ		2	2年	後期	
	言語比較論Ⅰ		2	2年	前期	
	言語比較論Ⅱ		2	2年	後期	
	コミュニケーション技法論Ⅰ		2	2年	前期	
	コミュニケーション技法論Ⅱ		2	2年	後期	
	イギリスの文学と文化		2	2年	前期	多文化
	Cross-cultural Language and CommunicationⅠ		2	2年	前期	
	Cross-cultural Language and CommunicationⅡ		2	2年	後期	
	英文法論		2	3年	前期	
	英米文学概論Ⅰ		2	3年	前期	
	英米文学概論Ⅱ		2	3年	後期	
	時事英語		2	3年	前期	
	英語聴解法		2	3年	後期	
	英語学概論Ⅰ		2	3年	前期	
	英語学概論Ⅱ		2	3年	後期	
	英文構成法Ⅰ		2	3年	前期	
	英文構成法Ⅱ		2	3年	後期	
	Special Lecture in British and American LiteratureⅠ		2	3年	前期	
	Special Lecture in British and American LiteratureⅡ		2	3年	後期	
	Communication in EnglishⅠ		1	3年	前期	
Communication in EnglishⅡ		1	3年	後期		

5プログラム共通科目（地域研究等）

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目 5プログラム科目	地域研究入門		2	1年	前期	
	東北アジア政治論		2	1年	後期	
	ロシア研究		2	1年	後期	
	アフリカ研究		2	1年	後期	
	中東アラブ研究入門		2	1年	後期	
	中東アラブ研究		2	2年	前期	
	日本文化史Ⅰ		2	1年	後期	
	日本文化史Ⅱ		2	2年	前期	
	データ分析		2	2年	前期	
	比較地誌学		2	2年	前期	
	日本政治論		2	2年	前期	
	アフリカ社会と開発		2	2年	前期	
	ヨーロッパ政治論		2	2年	前期	
	American CultureⅠ		2	2年	前期	
	American CultureⅡ		2	2年	後期	
	イギリス文化論Ⅰ		2	2年	前期	
	イギリス文化論Ⅱ		2	2年	後期	
	フランス文化論		2	2年	後期	
	広島と世界		2	2年	後期	
	東南アジア研究		2	2年	後期	
	中国文化論		2	2年	後期	
	Modern Japanese Studies		2	2年	後期	
	国際日本学		2	3年	前期	
	東アジア研究		2	3年	前期	
	ラテンアメリカ研究Ⅰ		2	3年	前期	
	ラテンアメリカ研究Ⅱ		2	3年	後期	
	Études de la société française		2	3年	前期	
Deutschland und Japan im Vergleich		2	3年	後期		

アクティブ科目等

科目区分		授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考	
			必修	選択				
専門科目	アクティブ科目	国際交流	国際研究特講Ⅰ		2	全学年	通年	
			国際研究特講Ⅱ		2	全学年	通年	
			海外短期英語留学		2	全学年	通年	
			海外短期フランス語留学		4	全学年	通年	
			海外短期ロシア語留学		2	全学年	通年	
			海外短期中国語留学		2	全学年	通年	
		HIROSHIMA and PEACE		2	2～4年	通年		
		インターンシップ	企業インターンシップ		2	2～4年	通年	
			学部派遣海外インターンシップ		2	2～4年	通年	
			公的機関インターンシップ		2	2～4年	通年	
	演習	専門演習Ⅰ	1		3年	通年	注4	
		専門演習Ⅱ	1		3年	通年	注4	
		卒論演習Ⅰ	1		4年	通年	注4	
		卒論演習Ⅱ	1		4年	通年	注4	
	特別演習・特別講義	特別演習Ⅰ		1	4年	通年	注5	
		特別演習Ⅱ		1	4年	通年	注5	
		特別演習Ⅲ		1	4年	通年	注5	
		特別演習Ⅳ		1	4年	通年	注5	
		特別講義Ⅰ		2	4年	通年	注5	
		特別講義Ⅱ		2	4年	通年	注5	
卒業論文	卒業論文	4		4年	通年			

注4 演習について

「専門演習Ⅰ」及び「卒論演習Ⅰ」は前期履修、「専門演習Ⅱ」及び「卒論演習Ⅱ」は後期履修を原則とする。事前に指導教員の許可があった場合には、開設学期を変更することができる。

注5 特別演習・特別講義について

事前に指導教員の許可があった場合に履修が認められる。また、一定の条件のもとに「アクティブ科目」への加算が認められる。

国際学部 全専門科目 配置図

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次						
国際学部 5プログラム科目 専門科目	国際政治・平和	<前期> 国際関係論 <後期> 国際関係史入門 平和研究Ⅰ	国際安全保障論 国際協力論Ⅰ・Ⅱ[公共] 平和研究Ⅱ・Ⅲ 国際法 Peace and Conflict Studies Learning IIIs Contemporary Political Issues History of Japanese Politics and Diplomacy	比較政治学 国際社会論Ⅰ・Ⅱ[多文化] 国際関係史(中国)Ⅰ・Ⅱ 国際政治理論 日本史概論Ⅱ[多文化] 世界史概論Ⅱ[多文化]	国際人権法 民族国家論Ⅰ・Ⅱ 紛争解決論Ⅰ・Ⅱ 国際機構論Ⅰ・Ⅱ 国際関係史(日本)Ⅰ・Ⅱ 国際関係史(朝鮮半島)Ⅰ・Ⅱ 国際関係史(アメリカ)Ⅰ・Ⅱ 国際関係史(ロシア)Ⅰ・Ⅱ 日本社会と人権[多文化]	卒業論文 (発表会)					
	公共政策・NPO	<後期> 公共政策・NPO入門 ミクロ経済学Ⅱ[ビジネス] マクロ経済学Ⅰ 国際開発学[政治] 生涯学習概論 公共政策論 地理学概論	ミクロ経済学Ⅱ[ビジネス] 非営利組織論Ⅰ・Ⅱ 現代社会と法Ⅰ・Ⅱ 健康心理学 地域再生論[ビジネス] 地方自治論 ローカル・ガバナンス論 比較教育学 Public Administration and Local Governance in Japan	基本統計学 開発社会学 経済政策論Ⅰ[政治]・Ⅱ マクロ経済学Ⅱ スポーツ開発論[ビジネス] 環境社会学	比較法制度Ⅰ・Ⅱ 行政学	卒業論文 (発表会)					
	多文化共生	<前期> 多文化共生入門 <後期> 社会文化思想史Ⅰ[政治] 日本史概論Ⅰ[政治]	芸術文化論[言語] ジェンダーとセクシャリティ 社会文化思想史Ⅱ 比較文化論Ⅰ・Ⅱ 文化交流史Ⅰ・Ⅱ フィールドワーク論[課題・公共] マス&ソーシャルメディア論[政治] East Asian Culture and Societies Hiroshima and Atomic Bombing in Media Future Studies I Pre-modern Japanese Studies	メディア・リテラシー エスニシティと宗教Ⅰ 共生の哲学Ⅰ・Ⅱ 労働と社会 世界史概論Ⅰ[政治]	エスニシティと宗教Ⅱ 比較民族学Ⅰ・Ⅱ Future Studies II Exploring Japanese Society	卒業論文 (発表会)					
	国際ビジネス	<前期> 国際ビジネス入門 <後期> 会計学Ⅰ International Commerce	会計学Ⅱ 人的資源管理論 マーケティング論Ⅰ[公共]・Ⅱ 多国籍企業論Ⅰ・Ⅱ 経営史 国際会計論 International Business Introduction to Management	経営戦略論 国際経営論Ⅰ・Ⅱ 財務管理論Ⅰ・Ⅱ 会計論[公共] 経営組織論 金融論	国際貿易論 国際金融論Ⅰ[公共]・Ⅱ 国際取引と法Ⅰ[公共]・Ⅱ テクノロジー・マネジメント	卒業論文 (発表会)					
	言語・コミュニケーション	<前期> 英語学習Ⅰ <後期> 言語・コミュニケーション 研究入門A 言語・コミュニケーション 研究入門B 英語学習Ⅱ	応用言語論Ⅰ・Ⅱ 翻訳論Ⅰ・Ⅱ フランスの文学と文化[多文化] 日本語学・日本語教育学Ⅰ・Ⅱ コミュニケーション技法論Ⅰ・Ⅱ イギリスの文学と文化 Cross-Cultural Language and CommunicationⅡ[多文化]・Ⅲ	言語比較論Ⅰ・Ⅱ	英文法論 時事英語 英語学概論Ⅰ・Ⅱ Special Lecture in British and American LiteratureⅠ・Ⅱ 英語聴解法 英米文学概論Ⅰ・Ⅱ 英文構成法Ⅰ・Ⅱ Communication in EnglishⅠ・Ⅱ	卒業論文 (発表会)					
5プログラム共通科目(地域研究等)	<前期> 地域研究入門 <後期> 日本文化史Ⅰ 東北アジア政治論 ロシア研究 中東アラブ研究入門 アフリカ研究	データ分析 日本政治論 東南アジア研究 イギリス文化論Ⅰ・Ⅱ Modern Japanese Studies American CultureⅠ・Ⅱ	中東アラブ研究 日本文化史Ⅱ 中国文化論 ヨーロッパ政治論 フランス文化論 アフリカ社会と開発 広島と世界 比較地誌学	国際日本学 東アジア研究 ラテンアメリカ研究Ⅰ・Ⅱ Études de la société française Deutschland und Japan im Vergleich							
アクティブ科目(国際交流)	国際研究特訓Ⅰ・Ⅱ、海外短期英語留学、海外短期フランス語留学、海外短期中国語留学、海外短期ロシア語留学、HIROSHIMA and PEACE										
アクティブ科目(インターンシップ)	企業インターンシップ 公的機関インターンシップ 学部派遣海外インターンシップ										
アクティブ科目(演習)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20%;"><後期> 基礎演習</td> <td style="width: 20%;">発展演習Ⅰ</td> <td style="width: 20%;">発展演習Ⅱ</td> <td style="width: 20%;">専門演習Ⅰ</td> <td style="width: 20%;">専門演習Ⅱ</td> <td style="width: 20%;">卒論演習Ⅰ・Ⅱ</td> </tr> </table>					<後期> 基礎演習	発展演習Ⅰ	発展演習Ⅱ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅱ	卒論演習Ⅰ・Ⅱ
<後期> 基礎演習	発展演習Ⅰ	発展演習Ⅱ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅱ	卒論演習Ⅰ・Ⅱ						
アクティブ科目(演習)	<前期> 国際研究入門 <後期> データ分析入門 英語スキルアップⅠ・Ⅱ ※青色=外国語系科目、外国語による専門科目、国際交流系科目 専門基礎科目(ベーシック入門科目、ベーシック演習科目、英語スキルアップ科目)										

Q & A



Q：卒業要件単位数を超えて単位を修得した場合、成績や単位は無効になりますか？

A：無効にはなりません。GPAにも換算され、成績証明書に表示されます。



Q：いちぼる（UNIPA）の「履修登録」画面で、自身では登録していないのに画面に表示される授業があります。また、画面に選択肢として表示されない授業もあります。

A：クラス分けのある次の授業は自動反映されています。再履修の場合は、所定の手続きをおこなうと履修登録期間終了後に反映されます。手続きの詳細は、いちぼる（UNIPA）の掲示やガイダンス資料で確認しましょう。

- ・ 3学部合同基礎演習
- ・ 情報活用基礎
- ・ 英語応用演習Ⅰ～Ⅳ
- ・ 英語総合演習Ⅰ～Ⅳ
- ・ 基礎演習
- ・ 発展演習Ⅰ・Ⅱ
- ・ 英語スキルアップⅠ・Ⅱ
- ・ 卒論演習Ⅰ・Ⅱ
- ・ 専門演習Ⅰ・Ⅱ



Q：領域認定は複数のプログラムで受けることはできますか？

A：可能です。3年次に履修する「専門演習Ⅰ・Ⅱ」で自分の専門分野を決めて学修することになりますが、認定を受けたいプログラムごとに36単位以上修得した場合は、複数のプログラムで領域を専門に履修したことの認定を受けることができます。



Q：派遣留学を考えています。4年間での卒業は可能ですか？

A：派遣留学の期間にもよりますが、半年間の留学の場合は、4年間で卒業される方も多くいます。一方で、卒業を希望する時期や進路、就職のことなども踏まえて、休学や卒業時期を延期する選択をされる方もいます。



Q：派遣留学で修得した単位を認定してもらえる「単位互換制度」があると聞きました。申請からどのくらいで単位が付与されますか？

A：「単位互換制度」については、16頁に詳細が記載されていますので、ご確認ください。単位付与は、教授会(先生方の会議)等で学部の審査を経て、本学の単位に認定されるため、時間がかかる場合があります。余裕をもって申請してください。留学後の履修計画等について確認が必要な場合もありますので、留学が決まったらまずは事務局教務グループに相談されることをおすすめします。



情報科学部

【情報科学部】

卒業要件

卒業するためには、原則4年以上在学し、次の卒業要件表に定める単位を修得しなければなりません。
この要件は、卒業するまで有効です。必ず自身の入学年度の要件を確認してください。

科目区分		卒業要件単位数			
全学共通系科目	地域志向科目	2単位以上	16単位以上	28単位	124単位
	平和科目	2単位以上			
	教養科目	6単位以上			
	キャリア科目	2単位以上			
	ICT科目	4単位			
外国語系科目		6単位以上			
全学共通系科目または外国語系科目から選択		6単位			
専門教育科目	専門基礎科目	96単位		96単位	
	専門科目				

【卒業要件表の読み方】

- ・必要単位数が「～単位以上」と指定されている科目区分は、指定の単位数を超えて単位を修得した場合でも、制限まで卒業要件単位として数えられます。
- ・「～単位」と指定されている科目区分は、指定の単位数までしか卒業要件単位としては数えられません。

履修基準

1. 全学共通系科目

必要単位数は卒業要件表のとおりです。必修科目は以下のとおりです。

【必修科目】

科目区分	授業科目名 (単位数)	単位	開設年次	備考	合計単位
教養科目	3学部合同基礎演習	1単位	1年		5単位
ICT科目	情報活用基礎	2単位	1年		
	データサイエンス	2単位	1・2年		

2. 外国語系科目

卒業までに6単位以上修得する必要があります。この6単位のうち、英語科目である「英語総合演習Ⅰ」、「英語総合演習Ⅱ」、「英語総合演習Ⅲ」、「英語総合演習Ⅳ」、「英語応用演習Ⅰ」、「英語応用演習Ⅱ」(各1単位)の計6単位は必修です。つまり、外国語系科目の6単位は必修の英語科目のみで充たすことができます。英語のみを集中的に勉強するのか、あるいは第二外国語も履修して言語の幅を広げるのか、各自の進路も考慮しながら、よく考えて決めてください。

・外国語系科目履修パターン① (必修英語科目のみを履修するパターン)

年次	学期	履修する授業科目 (カッコ内は単位数)		合計単位
1年次	前期	英語総合演習Ⅰ (1)	英語応用演習Ⅰ (1)	計6単位
	後期	英語総合演習Ⅱ (1)	英語応用演習Ⅱ (1)	
2年次	前期	英語総合演習Ⅲ (1)		
	後期	英語総合演習Ⅳ (1)		

・外国語系科目履修パターン② (第二外国語も履修するパターン)

※このパターンで履修した場合、修得した14単位のうち12単位までが卒業要件として算入されます。

年次	学期	履修する授業科目 (カッコ内は単位数)			合計単位
1年次	前期	英語総合演習Ⅰ (1)	英語応用演習Ⅰ (1)	第二外国語Ⅰ (2)	計14単位
	後期	英語総合演習Ⅱ (1)	英語応用演習Ⅱ (1)	第二外国語Ⅱ (2)	
2年次	前期	英語総合演習Ⅲ (1)		第二外国語Ⅲ (2)	
	後期	英語総合演習Ⅳ (1)		第二外国語Ⅳ (2)	

3. 専門教育科目

情報科学部の専門教育科目は全学科対象の「専門基礎科目」と学科ごとの「専門科目」により構成されています。情報科学部では、2年次前期から学科に配属されますが、2年次前期までは主に「専門基礎科目」を履修し、2年次後期から学科ごとの「専門科目」を履修することになります。

各学科における専門教育科目の履修基準は以下のとおりです。

- (1) 情報工学科
必修45単位を含め96単位
- (2) 知能工学科
必修48単位を含め96単位
- (3) システム工学科
必修45単位を含め96単位
- (4) 医用情報科学科
必修45単位を含め96単位

なお、卒業研究等の履修にあたっては、以下の履修要件があります。

情報工学科	知能工学科	システム工学科	医用情報科学科
①卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱの履修期間はそれぞれ半期	①卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱの履修期間はそれぞれ半期	①卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱの履修期間はそれぞれ半期	
②卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱは前後期いずれでも履修可能だが、卒業研究Ⅱは卒業研究Ⅰの単位修得者が履修可能	②卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱは前後期いずれでも履修可能だが、卒業研究Ⅱは卒業研究Ⅰの単位修得者が履修可能	②卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱは前後期いずれでも履修可能だが、卒業研究Ⅱは卒業研究Ⅰの単位修得者が履修可能	
③プレゼンテーション技法(3年次に履修しておくこと)、技術文書作成法の履修期間はそれぞれ半期	③プレゼンテーション技法、技術英語演習Ⅱ、技術文書作成法の履修期間はそれぞれ半期	③プレゼンテーション技法、技術文書作成法の履修期間はそれぞれ半期	
④原則、技術文書作成法は卒業研究Ⅱと同じ履修期に履修すること	④原則、プレゼンテーション技法と技術英語演習Ⅱは卒業研究Ⅰ、技術文書作成法は卒業研究Ⅱと同じ履修期に履修すること	④原則、プレゼンテーション技法は卒業研究Ⅰ、技術文書作成法は卒業研究Ⅱと同じ履修期に履修すること	

学科配属

情報科学部の学生は、1年次後期終了時に、2年次進級が認められて（原則として前期を1期及び後期を1期、各期を途中休学することなく、且つ卒業要件となる124単位のうち、20単位以上修得していること。）いれば、本人の希望と成績に基づき、「情報工学科」、「知能工学科」、「システム工学科」及び「医用情報科学科」のいずれかの学科に配属されます。

進級要件

情報科学部においては、2年次以後の年次ごとに進級するための条件があります。

この条件を満たさないと、次の学年へ進級できなくなり、卒業延期となりますので、年次ごとに計画的に単位を修得し、4年間で卒業できるようにしましょう。

対 象	情報工学科	知能工学科	システム工学科	医用情報科学科
2年次	次の①及び②、または③に該当する者 ①1年次に休学をしていない ②1年次末に卒業要件となる124単位のうち、20単位以上を修得している ③教授会で認められた者			
3年次	次のいずれかに該当する者 ①2年次末において、卒業要件の124単位のうち、以下の科目の全単位を含む66単位以上を修得している ②学科の推薦を受け、教授会で認められた者 【修得必須科目】 情報科学基礎実験a(1) 情報科学基礎実験b(1) 情報科学基礎実験c(1) プログラミングⅠ演習(1) プログラミングⅡ演習(1) 英語総合演習Ⅰ(1) 英語総合演習Ⅱ(1)			
4年次 (卒業研究 着手要件)	次のいずれかに該当する者 ①3年次末に、卒業要件の124単位のうち、以下の科目の全単位を含む110単位以上を修得している ②学科の推薦を受け、教授会で認められた者			
	【修得必須科目】 情報工学実験Ⅰ(1.5) 情報工学実験Ⅱ(1.5) 情報工学実験Ⅲ(1.5) 情報工学実験Ⅳ(1.5) プレゼンテーション技法(1) 技術英語演習(1) 解析学ⅠA演習(0.5) 解析学ⅠB演習(0.5) 線形代数学ⅠA演習(0.5) 線形代数学ⅠB演習(0.5) 英語総合演習Ⅲ(1) 英語総合演習Ⅳ(1)	【修得必須科目】 知能工学実験Ⅰ(1.5) 知能工学実験Ⅱ(1.5) 知能工学実験Ⅲ(1.5) 知能工学実験Ⅳ(1.5) 技術英語演習Ⅰ(1) 解析学ⅠA演習(0.5) 解析学ⅠB演習(0.5) 線形代数学ⅠA演習(0.5) 線形代数学ⅠB演習(0.5) 英語総合演習Ⅲ(1) 英語総合演習Ⅳ(1)	【修得必須科目】 システム工学実験Ⅰ(1.5) システム工学実験Ⅱ(1.5) システム工学実験Ⅲ(1.5) システム工学実験Ⅳ(1.5) 外書講読演習(1) 解析学ⅠA演習(0.5) 解析学ⅠB演習(0.5) 線形代数学ⅠA演習(0.5) 線形代数学ⅠB演習(0.5) 英語総合演習Ⅲ(1) 英語総合演習Ⅳ(1)	【修得必須科目】 医用情報科学実験Ⅰ(1.5) 医用情報科学実験Ⅱ(1.5) 医用情報科学実験Ⅲ(1.5) 医用情報科学実験Ⅳ(1.5) 技術英語実践演習Ⅰ(0.5) 技術英語実践演習Ⅱ(0.5) 解析学ⅠA演習(0.5) 解析学ⅠB演習(0.5) 線形代数学ⅠA演習(0.5) 線形代数学ⅠB演習(0.5) 英語総合演習Ⅲ(1) 英語総合演習Ⅳ(1)

イノベーション人材育成プログラム

◆ 概要

イノベーション人材育成プログラムは、プログラミングや数学の得意分野を伸ばす少人数選抜の教育プログラムです。プログラムを通じて、情報社会の課題に目を向け、問題を発見し、その解決策を考える力を身につけることができます。

◆ コース

次の2つの学習コースで得意分野を伸ばします。条件を満たせば、いずれか1コースを選択することも、両方を選択することもできます。

【革新的ICT実践特別コース】

プログラミングが得意な人向けのコース。モノづくりを極めたスーパーシステムエンジニアに必要な力を伸ばします。

【革新的情報科学特別コース】

数学が得意な人向けのコース。科学的研究能力をもつIT技術者に必要な力を伸ばします。

◆ 申請対象

指定された次の科目で優秀な成績を修めた学生がチャレンジできます。受入人数は40名程度であるため、申請者が多い場合、情報科学部教務委員会において選抜によりプログラム受講者を決定します。

※総合型選抜入学者は優先受講が可能です。

※2年次前期の申請は、原則として中断者・辞退者が発生した場合の欠員分のみ募集します。

コース	申請時期	1年次後期（10月上旬）に申請	2年次前期（4月上旬）に申請
革新的ICT実践特別コース		プログラミングⅠ	プログラミングⅡ
革新的情報科学特別コース		線形代数学ⅠA・ⅠB	線形代数学ⅡA・ⅡB

◆ プログラム修了要件

科目群	必要単位数
プログラム共通科目群	6単位
プログラミング系科目群 (革新的ICT実践特別コース受講者対象)	14単位以上
数学系科目群 (革新的情報科学特別コース受講者対象)	
所属学科の指定の専門科目群	6単位以上
実践的演習等の科目群	1単位
27単位以上	

※要件を満たす単位を修得した学生には、希望により「イノベーション人材育成プログラム修了証明書」を交付します。

◆ 対象科目（括弧内の数字は単位数。※はプログラム参加者のみ履修可能な科目を表す。）

科目群	専門基礎科目	専門科目			
		情報工学科	知能工学科	システム工学科	医用情報科学科
プログラム 共通科目群	実社会指向基礎数学 (2・必) 実践的AI技術(2)* 批判的創造的思考法(2)*				
プログラミング系 科目群	プログラミングⅠ(2・必) プログラミングⅠ演習 (1・必) プログラミングⅡ(2・必) プログラミングⅡ演習 (1・必) データ構造とアルゴリズムⅠ(2) データ構造とアルゴリズムⅡ(2)	情報システム開発(2) 高度プログラミングA(1)* 高度プログラミングB(1)* 高度プログラミングC(1)* 高度プログラミングD(1)*	情報システム開発(2) 高度プログラミングA(1)* 高度プログラミングB(1)* 高度プログラミングC(1)* 高度プログラミングD(1)*	情報システム開発(2) 高度プログラミングA(1)* 高度プログラミングB(1)* 高度プログラミングC(1)* 高度プログラミングD(1)*	情報システム開発(2) 高度プログラミングA(1)* 高度プログラミングB(1)* 高度プログラミングC(1)* 高度プログラミングD(1)*
数学系科目群	解析学ⅠA(1・必) 解析学ⅠB(1・必) 解析学ⅠA演習(0.5・必) 解析学ⅠB演習(0.5・必) 解析学Ⅱ(2) 線形代数学ⅠA(1・必) 線形代数学ⅠB(1・必) 線形代数学ⅠA演習(0.5・必) 線形代数学ⅠB演習(0.5・必) 線形代数学ⅡA(1・必) 線形代数学ⅡB(1・必) モデル化とシミュレーション(2)*	医用データサイエンス(2)	医用データサイエンス(2)	医用データサイエンス(2)	医用データサイエンス(2)
所属学科の 指定の 専門科目群		情報セキュリティ応用(2) コンピュータシステム(2) リコンフィギャラブル コンピューティング(2) 設計最適化手法(2) ネットワーク設計(2) ネットワークソフト ウェア(2) ワイヤレスネットワーク(2) ネットワーク基盤技術 (2) センサシステム(2) トラフィック分析(2)	グラフ理論(2) 人工知能(2) 感性情報処理(2) 機械学習(2) データマイニング(2) 情報検索(2) 画像情報処理(2) 自然言語処理(2) 情報理論(2) パターン認識(2)	確率過程論(2) 数値計算法(2) メカトロニクス(2) 画像情報処理(2) 制御工学Ⅰ(2) ロボティクスⅠ(2) デジタル無線通信(2) オペレーティングシス テム(2) パターン認識(2) ヒューマンインタ フェースⅠ(2)	バイオインフォマティ クスⅠ(1) バイオインフォマティ クスⅡ(1) 量子力学(1) 統計力学(1) 医用データサイエンス(2)* デジタル信号処理(2) 制御工学(2) 電気電子計測(2) 生体情報工学(2) 医用情報システム開発(2) 医用情報通信工学(2) 医科学概論Ⅰ(1) 医科学概論Ⅱ(1)
実践的演習等 の科目群	課題解決型演習(1) システム開発実践(2)				

◆ プログラムでの学びを応援する制度

プログラム受講者は、通常の情報科学部のカリキュラムに加えて、より実践的・発展的な学びに取り組むことができます。こうしたプログラムでの学びを後押しする制度として、希望する学科への優先的な配属（1年次後期）や、講座への早期配属（3年次前期）を受けることができます。

また、プログラムを修了し、優秀な成績を修めた場合は、3年次修了後飛び級による大学院への早期進学もできます。

数理・データサイエンス・AI 応用基礎プログラム

数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラムは、デジタル化社会の基礎知識となる数理・データサイエンス・AIについての基礎知識を身に付けた学生が、自らの専門分野でこれらの応用基礎力を習得するためのプログラムです。

◆ 到達目標

1. データサイエンスとして、データ処理に関する知識である「数学基礎」に加えて、AIを実装するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」及び「プログラミング基礎」の概念や知識を習得する。
2. AIを実際に活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得し、データサイエンスの基礎、機械学習深層学習の基礎や展望を理解する。
3. 実践の場を通じた学習体験を行い、データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できるようになる。

◆ 対象科目（太字は卒業要件上の必修科目）

科目群	授業科目名（単位数）	
データ表現とアルゴリズム (15科目)	解析学ⅠA (1) 解析学ⅠB (1) 解析学ⅠA演習 (0.5) 解析学ⅠB演習 (0.5) 線形代数学ⅠA (1) 線形代数学ⅠB (1) 線形代数学ⅠA演習 (0.5) 線形代数学ⅠB演習 (0.5)	確率統計 (2) プログラミングⅠ (2) プログラミングⅡ (2) プログラミングⅠ演習 (1) プログラミングⅡ演習 (1) データ構造とアルゴリズムⅠ (2) データ構造とアルゴリズムⅡ (2)
AIデータサイエンス基礎 (5科目)	データサイエンス (2) コンピュータ基礎 (2) 実社会指向基礎数学 (2)	実践的ICT活用事例 (2) 情報セキュリティ基礎 (2)
AIデータサイエンス実践 (4科目)	課題解決型演習 (1) 情報科学基礎実験a (1) 情報科学基礎実験b (1) 情報科学基礎実験c (1)	

◆ プログラム修了要件

プログラム対象科目全24科目（32単位）の単位修得

※24科目中21科目（27単位）は卒業要件上の必修科目です。

※要件を満たす単位を修得した学生には、希望により「数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム修了証明書」を交付します。

履修上限解除制度

「履修上限解除制度」は、成績優秀者が半期に登録できる科目の単位数の上限を超えて履修でき、上位学年開設科目を履修することができる制度です。対象者は、1年次末時点で、卒業要件単位のうち32単位を修得しており、通算GPAが3.0以上又は成績順位が上位5%以内の優秀な成績を修めている学生です。対象者へは年度末頃に事務局教務グループから申請の案内があります。

早期卒業制度

「早期卒業制度」は、成績優秀者が4年の教育課程を3年または3年半で卒業できる制度です。対象者は、2年次末または3年次前期末時点で卒業要件単位のうち、90単位以上を修得しており、通算GPAが3.0以上又は所属する学科内での成績順位が上位5%以内の優秀な成績を修めている学生です。対象者には、事務局教務グループから2年次末または3年次前期末に申請の案内があります。なお、先に述べてある履修上限解除制度を利用しておくとも本制度の活用がしやすくなります。

以下は早期卒業希望者向けの推奨スケジュールです。これらの制度の詳細については、学部ガイダンスなどで説明します。

スケジュール（あくまで一例です）

1年次3月	履修上限解除申請
2年次4月（前期履修登録～）	履修上限解除
2年次3月（または3年次9月）	早期卒業適格要件認定
3年次3月（または4年次9月）	早期卒業

教育課程表

開設年次は、当該科目を履修するのに適切な年次を示しています。例えば開設年次が1・2年の科目は、1年次または2年次のいずれかで履修時期を決めることが推奨されているものです。こうした場合であっても、自身の履修計画により、3年次以降に当該科目を履修（下年次履修）することも可能です。ただし、3年次と4年次の進級要件に留意してください。

全学共通系科目

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
地域志向科目	ひろしま論		2	1・2年	前期	④
	広島産業と技術		2	1・2年	後期	④
	地域再生論入門		2	1・2年	前期	④
	NPO論		2	1・2年	前期	④
	地域課題演習		1	1・2年	通年	④
平和科目	平和と人権A（ヒロシマと国際平和）		2	1・2年	前期	
	平和と人権B（現代世界と人権）		2	1・2年	後期	
	広島からの平和学：実践の方法		2	1・2年	前期	
	国際化時代の平和		2	1・2年	後期	
	「ヒロシマ」を考える		2	1・2年	後期	
教養科目	哲学		2	1・2年	後期	
	世界の宗教		2	1・2年	前期	
	心理学		2	1・2年	後期	
	歴史学		2	1・2年	前期	
	現代史		2	1・2年	前期	
	法学（日本国憲法）		2	1・2年	後期	
	政治学		2	1・2年	後期	
	経済学		2	1・2年	前期	
	社会学		2	1・2年	前期	
	文化人類学		2	1・2年	後期	
	自然人類学		2	1・2年	前期	
	経営学		2	1・2年	後期	
	数学概論		2	1・2年	前期	
	物理学概論		2	1・2年	前期	
	化学概論		2	1・2年	後期	
	生物学概論		2	1・2年	前期	
	情報科学概論		2	1・2年	後期	
	地球環境論		2	1・2年	前期	
情報社会論		2	1・2年	後期		

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
教養科目	デッサン概論		2	1・2年	前期	
	油絵入門		2	1・2年	第2ターム	
	日本画入門		2	1・2年	第2ターム	
	立体造形概論		2	1・2年	後期	
	デザイン工芸概論		2	1・2年	前期	
	創作と人間		2	1・2年	後期	
	コンピュータとアート		2	2年	後期	注1
	3学部合同基礎演習	1		1年	前期	
	健康科学		2	1年	前期	
	心の健康・身体の健康		2	1・2年	前期	
	体育実技Ⅰ		1	1年	前期	注2
	体育実技Ⅱ		1	1年	後期	注2
	キャリア科目	キャリアデザインⅰ		1	1・2年	第1ターム
キャリアデザインⅱ			1	1・2年	第4ターム	
仕事体験演習			1	1・2年	通年	
キャリアサポートベーシックA			1	2・3年	前期	
キャリアサポートベーシックB			1	2・3年	後期	
国際交流演習Ⅰ			1	全学年	通年	
国際交流演習Ⅱ			1	全学年	通年	
国際交流演習Ⅲ			1	全学年	通年	
国際交流演習Ⅳ		1	全学年	通年		
ICT科目	情報活用基礎	2		1年	第1ターム	
	データサイエンス	2		1・2年	後期	

注1 情報科学部生も履修可能だが、主として国際学部及び芸術学部生向けの講義内容となっている。

注2 「体育実技Ⅰ」の種目は初回の授業で、「体育実技Ⅱ」の種目は「体育実技Ⅰ」の最終授業で、希望調査を行い決定する。

再履修を希望する場合、希望調査時に回答できなかった場合には、個別に担当教員に相談すること。

外国語系科目

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
英 語 科 目	英語総合演習Ⅰ	1		1年	前期	
	英語総合演習Ⅱ	1		1年	後期	
	英語総合演習Ⅲ	1		2年	前期	
	英語総合演習Ⅳ	1		2年	後期	
	英語応用演習Ⅰ	1		1年	前期	
	英語応用演習Ⅱ	1		1年	後期	
英 語 以 外 の 外 国 語 系 科 目	ドイツ語Ⅰ		2	1年	前期	
	ドイツ語Ⅱ		2	1年	後期	
	ドイツ語Ⅲ		2	1・2年	前期	注3
	ドイツ語Ⅳ		2	1・2年	後期	注3
	フランス語Ⅰ		2	1年	前期	
	フランス語Ⅱ		2	1年	後期	
	フランス語Ⅲ		2	1・2年	前期	注3
	フランス語Ⅳ		2	1・2年	後期	注3
	中国語Ⅰ		2	1年	前期	
	中国語Ⅱ		2	1年	後期	
	中国語Ⅲ		2	1・2年	前期	注3
	中国語Ⅳ		2	1・2年	後期	注3
	ハングルⅠ		2	1年	前期	
	ハングルⅡ		2	1年	後期	
	ハングルⅢ		2	1・2年	前期	注3
	ハングルⅣ		2	1・2年	後期	注3
	アラビア語Ⅰ		2	1年	前期	
	アラビア語Ⅱ		2	1年	後期	
	アラビア語Ⅲ		2	1・2年	前期	注3
	アラビア語Ⅳ		2	1・2年	後期	注3
ロシア語Ⅰ		2	1年	前期		
ロシア語Ⅱ		2	1年	後期		
ロシア語Ⅲ		2	1・2年	前期	注3	
ロシア語Ⅳ		2	1・2年	後期	注3	

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
英語以外の 外国語系科目	イタリア語Ⅰ		2	1年	前期	
	イタリア語Ⅱ		2	1年	後期	
	イタリア語Ⅲ		2	1・2年	前期	注3
	イタリア語Ⅳ		2	1・2年	後期	注3
	スペイン語Ⅰ		2	1年	前期	
	スペイン語Ⅱ		2	1年	後期	
	スペイン語Ⅲ		2	1・2年	前期	注3
	スペイン語Ⅳ		2	1・2年	後期	注3
	日本語Ⅰ		2	1年	前期	注4
	日本語Ⅱ		2	1年	後期	注4
	日本語Ⅲ		2	1・2年	前期	注3 注4
	日本語Ⅳ		2	1・2年	後期	注3 注4

注3 1年次が履修する場合は、科目担当教員の承認が必要である。

注4 外国人留学生対象科目であり、日本人学生は履修することはできない。

専門教育科目

専門基礎科目(4学科共通)

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門基礎科目	解析学ⅠA	1		1年	第1ターム	
	解析学ⅠB	1		1年	第2ターム	
	解析学ⅠA演習	0.5		1年	第1ターム	
	解析学ⅠB演習	0.5		1年	第2ターム	
	線形代数学ⅠA	1		1年	第1ターム	
	線形代数学ⅠB	1		1年	第2ターム	
	線形代数学ⅠA演習	0.5		1年	第1ターム	
	線形代数学ⅠB演習	0.5		1年	第2ターム	
	プログラミングⅠ	2		1年	前期	
	プログラミングⅠ演習	1		1年	前期	
	コンピュータ基礎	2		1年	前期	
	情報科学英語	1		1年	第2ターム	
	解析学Ⅱ		2	1年	後期	
	線形代数学ⅡA	1		1年	第3ターム	
	線形代数学ⅡB	1		1年	第4ターム	
	実社会指向基礎数学	2		1年	後期	
	プログラミングⅡ	2		1年	後期	
	プログラミングⅡ演習	1		1年	後期	
	データ構造とアルゴリズムⅠ	2		1年	後期	
	情報科学序説		1	1年	第3ターム	
	離散数学		2	2年	第1ターム	
	確率統計	2		2年	第1ターム	
	情報基礎数学		2	2年	第2ターム	
	情報ネットワーク		2	2年	第1ターム	
	データ構造とアルゴリズムⅡ		2	2年	第2ターム	
	実践的AI技術		2	2年	第2ターム	注5
	基礎物理学		2	2年	前期	
	批判的創造的思考法		2	2年	第4ターム	注5
	実践的ICT活用事例		2	2年	第4ターム	
	課題解決型演習		1	2年	通年	㊦
	情報科学基礎実験a	1		2年	通年	
	情報科学基礎実験b	1		2年	通年	
	情報科学基礎実験c	1		2年	通年	
情報セキュリティ基礎	2		2年	第3ターム		
モデル化とシミュレーション		2	2年	第3ターム	注5	
幾何学概論		2 (自由科目)	2年	第1ターム		
システム開発実践			2	3年	通年 ㊦	

注5 イノベーション人材育成プログラム受講者のみ履修登録可

専門科目

情報工学科

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目	プログラミングⅢ		2	2年	第2ターム	
	常微分方程式		2	2年	第1ターム	注6
	観光情報学		2	2年	第2ターム	㊦
	高度プログラミングA		1	2年	第1ターム	注5
	高度プログラミングB		1	2年	第1ターム	注5
	高度プログラミングC		1	2年	第2ターム	注5
	高度プログラミングD		1	2年	第2ターム	注5
	デジタルデザイン		2	2年	第3ターム	
	オペレーティングシステム		2	2年	第3ターム	
	ネットワークプロトコル		2	2年	第3ターム	
	コンピュータグラフィックスⅠ		2	2年	第4ターム	
	コンピュータアーキテクチャ		2	2年	第4ターム	
	物理学		2	2年	第4ターム	
	情報システム開発		2	2年	第3ターム	
	最適化技法		2	2年	第4ターム	
	技術者倫理		2	2～4年	前期	
	情報と職業		2	2～3年	第3ターム	
	知的財産権		2	2～4年	前期	
	情報セキュリティ応用		2	3年	第1ターム	
	データベース		2	3年	第1ターム	
	技術英語演習	1		3年	第1ターム	
	情報工学実験Ⅰ	1.5		3年	第1ターム	
	情報工学実験Ⅱ	1.5		3年	第2ターム	
	ネットワーク設計		2	3年	第1ターム	
	コンピュータシステム		2	3年	第2ターム	
	ネットワーク基盤技術		2	3年	第2ターム	
	情報理論		2	3年	第2ターム	
	医用データサイエンス		2	3年	第1ターム	
	リコンフィギャラブルコンピューティング		2	3年	第3ターム	
	分散システム		2	3年	第2ターム	
	ネットワークソフトウェア		2	3年	第2ターム	
	センサシステム		2	3年	第3ターム	
情報工学実験Ⅲ	1.5		3年	第3ターム		
情報工学実験Ⅳ	1.5		3年	第4ターム		

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目	画像情報処理		2	3年	第4ターム	注6
	設計最適化手法		2	3年	第4ターム	
	信頼性工学		2	3年	第4ターム	
	ワイヤレスネットワーク		2	3年	第4ターム	
	トラフィック分析		2	3年	第4ターム	
	デジタル信号処理		2	3年	第3ターム	
	プレゼンテーション技法	1		3年	第4ターム	
	技術文書作成法	1		4年	通年	
	卒業研究Ⅰ	4		4年	通年	
	卒業研究Ⅱ	4		4年	通年	

注5 イノベーション人材育成プログラム受講者のみ履修登録可

注6 教職課程登録者のみ履修登録可

知能工学科

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目	オートマトンと形式言語	2		2年	第2ターム	
	常微分方程式		2	2年	第1ターム	注6
	観光情報学		2	2年	第2ターム	Ⓓ
	高度プログラミングA		1	2年	第1ターム	注5
	高度プログラミングB		1	2年	第1ターム	注5
	高度プログラミングC		1	2年	第2ターム	注5
	高度プログラミングD		1	2年	第2ターム	注5
	数理計画法		2	2年	第3ターム	
	数理論理学		2	2年	第3ターム	
	コンピュータグラフィックスⅠ		2	2年	第4ターム	
	プログラミングⅢ		2	2年	第3ターム	
	プログラミングⅢ演習		1	2年	第3ターム	
	グラフ理論		2	2年	第4ターム	
	オペレーティングシステム		2	2年	第4ターム	
	デジタル信号処理		2	2年	第3ターム	
	数値解析		2	2年	第4ターム	
	情報システム開発		2	2年	第3ターム	
	ソフトウェア工学概説		2	3年	第4ターム	
	技術者倫理		2	2～4年	前期	
	情報と職業		2	2～3年	第3ターム	
	知的財産権		2	2～4年	前期	
	情報理論		2	3年	第1ターム	
	データベース		2	3年	第1ターム	
	人工知能		2	3年	第2ターム	
	技術英語演習Ⅰ	1		3年	第4ターム	
	知能工学実験Ⅰ	1.5		3年	第1ターム	
	知能工学実験Ⅱ	1.5		3年	第2ターム	
	コンパイラ		2	3年	第2ターム	
	計算論		2	3年	第2ターム	
	コンピュータグラフィックスⅡ		2	3年	第3ターム	
	パターン認識		2	3年	第2ターム	
	情報検索		2	3年	第3ターム	
	医用データサイエンス		2	3年	第1ターム	
自然言語処理		2	3年	第1ターム		
医用画像処理		2	3年	第3ターム		

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目	データマイニング		2	3年	第3ターム	
	バイオインフォマティクスⅠ		1	3年	第3ターム	
	バイオインフォマティクスⅡ		1	3年	第4ターム	
	知能工学実験Ⅲ	1.5		3年	第3ターム	
	知能工学実験Ⅳ	1.5		3年	第4ターム	
	機械学習		2	3年	第4ターム	
	感性情報処理		2	3年	第3ターム	
	画像情報処理		2	3年	第4ターム	
	プレゼンテーション技法	1		4年	通年	
	技術英語演習Ⅱ	1		4年	通年	
	技術文書作成法	1		4年	通年	
	卒業研究Ⅰ	4		4年	通年	
	卒業研究Ⅱ	4		4年	通年	

注5 イノベーション人材育成プログラム受講者のみ履修登録可

注6 教職課程登録者のみ履修登録可

システム工学科

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目	常微分方程式		2	2年	第1ターム	
	観光情報学		2	2年	第2ターム	㊦
	高度プログラミングA		1	2年	第1ターム	注5
	高度プログラミングB		1	2年	第1ターム	注5
	高度プログラミングC		1	2年	第2ターム	注5
	高度プログラミングD		1	2年	第2ターム	注5
	電気回路		2	2年	第2ターム	
	プログラミングⅢ		2	2年	第1ターム	
	プログラミングⅢ演習		1	2年	第2ターム	
	物理学		2	2年	第4ターム	
	情報理論		2	2年	第1ターム	
	応用幾何学		2	2年	第3ターム	
	情報システム開発		2	2年	第3ターム	
	機械力学		2	2年	第3ターム	
	電子回路		2	2年	第4ターム	
	コンピュータグラフィックス		2	2年	第4ターム	
	離散時間システム		2	2年	第4ターム	
	オペレーティングシステム		2	2年	第3ターム	
	知的財産権		2	2～4年	前期	
	情報と職業		2	2～3年	第3ターム	
	技術者倫理		2	2～4年	前期	
	数値計算法		2	3年	第1ターム	
	システム工学実験Ⅰ	1.5		3年	第1ターム	
	システム工学実験Ⅱ	1.5		3年	第2ターム	
	メカトロニクス		2	3年	第2ターム	
	制御工学Ⅰ		2	3年	第2ターム	
	ロボティクスⅠ		2	3年	第1ターム	
	最適化手法		2	3年	第2ターム	
	デジタル無線通信		2	3年	第2ターム	
	外書講読演習	1		3年	前期	
	情報代数学		2	3年	第1ターム	
	確率過程論		2	3年	第1ターム	
	データベース		2	3年	第1ターム	注6
ヒューマンインタフェースⅠ		2	3年	第1ターム		
医用データサイエンス		2	3年	第1ターム		
ヒューマンインタフェースⅡ		2	3年	第2ターム		

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目	ソフトウェア工学概論		2	3年	第3ターム	
	画像情報処理		2	3年	第3ターム	
	制御工学Ⅱ		2	3年	第3ターム	
	偏微分方程式		2	3年	第4ターム	
	ロボティクスⅡ		2	3年	第3ターム	
	パターン認識		2	3年	第2ターム	
	情報セキュリティ応用		2	3年	第4ターム	
	ソフトコンピューティング		2	3年	第4ターム	
	システム工学実験Ⅲ	1.5		3年	第3ターム	
	システム工学実験Ⅳ	1.5		3年	第4ターム	
	プレゼンテーション技法	1		4年	通年	
	技術文書作成法	1		4年	通年	
	卒業研究Ⅰ	4		4年	通年	
	卒業研究Ⅱ	4		4年	通年	

注5 イノベーション人材育成プログラム受講者のみ履修登録可

注6 教職課程登録者のみ履修登録可

医用情報科学科

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目	化学		2	2年	前期	
	観光情報学		2	2年	第2ターム	㊦
	高度プログラミングA		1	2年	第1ターム	注5
	高度プログラミングB		1	2年	第1ターム	注5
	高度プログラミングC		1	2年	第2ターム	注5
	高度プログラミングD		1	2年	第2ターム	注5
	回路工学基礎Ⅰ		1	2年	第1ターム	
	回路工学基礎Ⅱ		1	2年	第2ターム	
	医科学概論Ⅰ		1	2年	第1ターム	
	医科学概論Ⅱ		1	2年	第2ターム	
	力学		2	2年	第4ターム	
	幾何光学・波動		2	2年	第3ターム	
	電気磁気学		2	2年	第4ターム	
	プログラミングⅢ		2	2年	第4ターム	
	回路工学応用		2	2年	第3ターム	
	医用情報システム開発		2	2年	第1ターム	
	オペレーティングシステム		2	2年	第3ターム	注6
	情報システム開発		2	2年	第3ターム	
	情報と職業		2	2～3年	第3ターム	
	技術者倫理		2	2～4年	前期	
	知的財産権		2	2～4年	前期	
	技術英語実践演習Ⅰ	0.5		3年	第1ターム	
	技術英語実践演習Ⅱ	0.5		3年	第2ターム	
	医用情報科学実験Ⅰ	1.5		3年	第1ターム	
	医用情報科学実験Ⅱ	1.5		3年	第2ターム	
	医用データサイエンス		2	3年	第1ターム	注5
	医用情報科学のための病院実習		1	3年	第2ターム	
	デジタル信号処理		2	3年	第1ターム	
	機械工学		2	3年	第1ターム	
	データベース		2	3年	第1ターム	注6
	量子力学		1	3年	第2ターム	
	統計力学		1	3年	第1ターム	
制御工学		2	3年	第2ターム		
電気電子計測		2	3年	第2ターム		

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門科目	分子生物学Ⅰ		1	3年	第1ターム	
	分子生物学Ⅱ		1	3年	第2ターム	
	生物学		2	2年	第3ターム	
	医用生体画像計測		2	3年	第2ターム	
	バイオインフォマティクスⅠ		1	3年	第3ターム	
	バイオインフォマティクスⅡ		1	3年	第4ターム	
	生物工学		2	3年	第4ターム	
	ワイヤレスネットワーク		2	3年	第4ターム	注6
	医用画像処理		2	3年	第3ターム	
	医用ロボット工学		2	3年	第4ターム	
	バイオメカニクス		2	3年	第3ターム	
	生体情報工学		2	3年	第3ターム	
	医用情報通信工学		2	3年	第4ターム	
	医用情報科学実験Ⅲ	1.5		3年	第3ターム	
	医用情報科学実験Ⅳ	1.5		3年	第4ターム	
	プレゼンテーション技法	1		4年	通年	
	技術文書作成法	1		4年	通年	
	卒業研究Ⅰ	4		4年	通年	
卒業研究Ⅱ	4		4年	通年		

注5 インノベーション人材育成プログラム受講者のみ履修登録可

注6 教職課程登録者のみ履修登録可

Q & A



Q：全学共通系科目及び外国語系科目の卒業要件単位はあわせて28単位となっていますが、28単位を超えて単位を修得した場合、どうなりますか。

A：卒業要件単位としては28単位までしか加算されません。要件を超えて修得した単位は、いちぼる（UNIPA）の「成績照会」画面で「要件超過単位」に加算されます。



Q：いちぼる（UNIPA）の「履修登録」画面で、自身では登録していないのに画面に表示される授業があります。また、画面に選択肢として表示されない授業もあります。

A：クラス分けのある次の授業は自動反映されています。再履修の場合は、所定の手続きをおこなうと履修登録期間後に反映されます。手続きの詳細は、いちぼる（UNIPA）の掲示やガイダンス資料で確認しましょう。

- ・ 3学部合同基礎演習
- ・ 英語応用演習Ⅰ・Ⅱ
- ・ 英語総合演習Ⅰ～Ⅳ
- ・ 線形代数学ⅡA
- ・ 線形代数学ⅡB
- ・ プログラミングⅡ
- ・ プログラミングⅡ演習



Q：早期卒業を目指すにあたって、履修上限解除制度を利用すると、どのようなメリットがあるのですか？

A：早期卒業をするには、通常4年間の大学生活で取得する卒業要件単位数124単位を3年間又は3年半の間に取得する必要があります。履修上限解除制度を活用するのは2年次からなので、3年次から履修する科目を2年次のうちにいくつか履修しておけば、3年次に履修する科目数を減らすことができます。学年が上がるにつれて、履修科目の難易度も上がっていきますので、3年次の負担を軽減することができます。ただ、どちらの制度も、利用するには優秀な成績を修めておく必要があります。早期卒業を目指すなら、日頃から勉学に励みましょう。



Q：派遣留学を考えています。4年間での卒業は可能ですか？

A：情報科学部は各期・タームごとに必修科目が開設されており、長期間に及ぶ留学の場合は4年間での卒業は難しく、留学前後の履修計画等の確認事項が多いので、まずは事務局教務グループにご相談ください。



芸術学部

【芸術学部】

卒業要件

卒業するためには、原則4年以上在学し、次の卒業要件表に定める単位を修得しなければなりません。
この要件は、卒業するまで有効です。必ず自身の入学年度の要件を確認してください。

科目区分		卒業要件単位数		
全学共通系科目	地域志向科目	2単位以上	26単位	124単位
	平和科目	2単位以上		
	教養科目	9単位以上		
	キャリア科目	1単位以上		
	ICT科目	2単位以上		
外国語系科目		6単位以上		
全学共通系科目または外国語系科目から選択		4単位		
専門教育科目	専門基礎科目	22単位	98単位	
	専門科目	76単位		

【卒業要件表の読み方】

- ・必要単位数が「～単位以上」と指定されている科目区分は、指定の単位数を超えて単位を修得した場合でも、制限まで卒業要件単位として数えられます。
- ・「～単位」と指定されている科目区分は、指定の単位数までしか卒業要件単位としては数えられません。

履修基準

1. 全学共通系科目

必要単位数は卒業要件表のとおりです。必修科目は以下のとおりです。

【必修科目】

科目区分	授業科目名 (単位数)	単位	開設年次	備考	合計単位
教養科目	3学部合同基礎演習	1単位	1年	いずれかを選択	5単位
	体育実技Ⅰ(1)	健康科学(2) または 心の健康・ 身体の健康(2)	1年		
	体育実技Ⅱ(1)		1・2年		
ICT科目	情報活用基礎	2単位	1年		

2. 外国語系科目

卒業までに外国語系科目の単位を6単位以上修得する必要があります。この6単位のうち、英語科目である「英語総合演習Ⅰ」、「英語総合演習Ⅱ」、「英語応用演習Ⅰ」、「英語応用演習Ⅱ」(各1単位)の計4単位は必修、すなわち、必ず履修しなければなりません。また、このほか英語科目である「英語応用演習Ⅲ」、「英語応用演習Ⅳ」、「英語総合演習Ⅲ」、「英語総合演習Ⅳ」(各1単位)及び英語以外の外国語系科目の中から2単位以上を履修してください。つまり、外国語系科目の6単位は英語科目のみで6単位とすることもできますし、英語科目4単位と第二外国語2単位とで6単位とすることもできます。英語のみを集中的に勉強するのか、あるいは第二外国語も履修して言語の幅を広げるのか、各自の進路も考慮しながら、よく考えて決めてください。下に基本的な履修パターンを2つ示します。

芸術学部の基本的な外国語系科目履修パターン①(英語科目のみを履修するパターン)

年次	学期	履修する授業科目(カッコ内は単位数)		合計単位
1年次	前期	英語総合演習Ⅰ(1)	英語応用演習Ⅰ(1)	計6単位
	後期	英語総合演習Ⅱ(1)	英語応用演習Ⅱ(1)	
2年次	前期	英語総合演習Ⅲ(1)または英語応用演習Ⅲ(1)		
	後期	英語総合演習Ⅳ(1)または英語応用演習Ⅳ(1)		

芸術学部の基本的な外国語系科目履修パターン②(第二外国語を履修するパターン)

年次	学期	履修する授業科目(カッコ内は単位数)			合計単位
1年次	前期	英語総合演習Ⅰ(1)	英語応用演習Ⅰ(1)	第二外国語Ⅰ(2)	計6単位
	後期	英語総合演習Ⅱ(1)	英語応用演習Ⅱ(1)		

3. 専門教育科目

芸術学部の専門教育科目は「専門基礎科目」と「専門科目」により構成されています。その履修基準は専門基礎科目22単位、専門科目76単位(必修)です。

卒業制作履修登録条件

4年次に進級し、卒業制作の履修登録を行うためには、以下のいずれかの条件を満たす必要があります。卒業制作は必修科目であり、履修登録ができないことは卒業延期となることを意味します。3年次までに計画的に単位を修得するようにしてください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 次に掲げる条件を満たす者
3年次末において、卒業要件となる124単位のうち、90単位以上を修得 (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者 |
|--|

教育課程表

開設年次は、当該科目を履修するのに適切な年次を示しています。例えば開設年次が1・2年の科目は、1年次または2年次のいずれかで履修時期を決めることが推奨されているものです。こうした場合であっても、自身の履修計画により、3年次以降に当該科目を履修（下年次履修）することも可能です。

全学共通系科目

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
地域志向科目	ひろしま論		2	1・2年	前期	Ⓓ
	広島産業と技術		2	1・2年	後期	Ⓓ
	地域再生論入門		2	1・2年	前期	Ⓓ
	NPO論		2	1・2年	前期	Ⓓ
	地域課題演習		1	1・2年	通年	Ⓓ
平和科目	平和と人権A（ヒロシマと国際平和）		2	1・2年	前期	
	平和と人権B（現代世界と人権）		2	1・2年	後期	
	広島からの平和学：実践の方法		2	1・2年	前期	
	国際化時代の平和		2	1・2年	後期	
	「ヒロシマ」を考える		2	1・2年	後期	
教養科目	哲学		2	1・2年	後期	
	世界の宗教		2	1・2年	前期	
	心理学		2	1・2年	後期	
	歴史学		2	1・2年	前期	
	現代史		2	1・2年	前期	
	法学（日本国憲法）		2	1・2年	後期	
	政治学		2	1・2年	後期	
	経済学		2	1・2年	前期	
	社会学		2	1・2年	前期	
	文化人類学		2	1・2年	後期	
	自然人類学		2	1・2年	前期	
	経営学		2	1・2年	後期	
	数学概論		2	1・2年	前期	
	物理学概論		2	1・2年	前期	
	化学概論		2	1・2年	後期	
	生物学概論		2	1・2年	前期	
	情報科学概論		2	1・2年	後期	
	地球環境論		2	1・2年	前期	
	情報社会論		2	1・2年	後期	
デザイン工芸概論		2	1・2年	前期		

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
教養科目	創作と人間		2	1・2年	後期	
	コンピュータとアート		2	2年	後期	
	3学部合同基礎演習	1		1年	前期	
	健康科学		2	1年	前期	
	心の健康・身体の健康		2	1・2年	前期	
	体育実技Ⅰ		1	1年	前期	注1
	体育実技Ⅱ		1	1年	後期	注1
キャリア科目	キャリアデザインⅰ		1	1・2年	第1ターム	
	キャリアデザインⅱ		1	1・2年	第4ターム	
	仕事体験演習		1	1・2年	通年	
	キャリアサポートベーシックA		1	2・3年	前期	
	キャリアサポートベーシックB		1	2・3年	後期	
	国際交流演習Ⅰ		1	全学年	通年	
	国際交流演習Ⅱ		1	全学年	通年	
	国際交流演習Ⅲ		1	全学年	通年	
国際交流演習Ⅳ		1	全学年	通年		
ICT科目	情報活用基礎	2		1年	前期	
	データサイエンス		2	1・2年	後期	

注1 「体育実技Ⅰ」の種目は初回の授業で、「体育実技Ⅱ」の種目は「体育実技Ⅰ」の最終授業で、希望調査を行い決定する。

再履修を希望する場合、希望調査時に回答できなかった場合には、個別に担当教員に相談すること。

外国語系科目

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
英語科目	英語総合演習Ⅰ	1		1年	前期	
	英語総合演習Ⅱ	1		1年	後期	
	英語総合演習Ⅲ		1	2年	前期	
	英語総合演習Ⅳ		1	2年	後期	
	英語応用演習Ⅰ	1		1年	前期	
	英語応用演習Ⅱ	1		1年	後期	
	英語応用演習Ⅲ		1	2年	前期	
	英語応用演習Ⅳ		1	2年	後期	
英語以外の 外国語系科目	ドイツ語Ⅰ		2	1年	前期	
	ドイツ語Ⅱ		2	1年	後期	
	ドイツ語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2
	ドイツ語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2
	フランス語Ⅰ		2	1年	前期	
	フランス語Ⅱ		2	1年	後期	
	フランス語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2
	フランス語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2
	中国語Ⅰ		2	1年	前期	
	中国語Ⅱ		2	1年	後期	
	中国語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2
	中国語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2
	ハングルⅠ		2	1年	前期	
	ハングルⅡ		2	1年	後期	
	ハングルⅢ		2	1・2年	前期	注2
	ハングルⅣ		2	1・2年	後期	注2
	アラビア語Ⅰ		2	1年	前期	
	アラビア語Ⅱ		2	1年	後期	
	アラビア語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2
	アラビア語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2
ロシア語Ⅰ		2	1年	前期		
ロシア語Ⅱ		2	1年	後期		
ロシア語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2	
ロシア語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2	

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
英語以外の 外国語系科目	イタリア語Ⅰ		2	1年	前期	
	イタリア語Ⅱ		2	1年	後期	
	イタリア語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2
	イタリア語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2
	スペイン語Ⅰ		2	1年	前期	
	スペイン語Ⅱ		2	1年	後期	
	スペイン語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2
	スペイン語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2
	日本語Ⅰ		2	1年	前期	注3
	日本語Ⅱ		2	1年	後期	注3
	日本語Ⅲ		2	1・2年	前期	注2 注3
	日本語Ⅳ		2	1・2年	後期	注2 注3

注2 1年次が履修する場合は、科目担当教員の承認が必要である。

注3 外国人留学生対象科目であり、日本人学生は履修することはできない。

専門教育科目

専門基礎科目(2学科共通)

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門基礎科目	現代美術演習Ⅰ		2	1年	通年	
	デザイン概論		2	1年	前期	注5
	工芸概論		2	1年	前期	注5
	絵画材料論		2	1年	後期	
	美術解剖学Ⅰ		2	1年	前期	注4
	美術解剖学Ⅱ		2	1年	後期	注4
	油絵入門		2	1年	第2ターム	
	日本画入門		2	1年	第2ターム	
	色彩論		2	1年	後期	注5
	図法及び製図		2	2年	後期	注5
	材料技法演習(木工)		1	2年	第3ターム	
	材料技法演習(塗装)		1	2年	第4ターム	
	現代美術演習Ⅱ		2	2年	通年	
	芸術工学		2	2年	前期	
	工芸材料概説		2	2年	前期	
	写真/映像概論		2	2年	前期	
	西洋美術史Ⅰ		2	2年	前期	
	西洋美術史Ⅱ		2	2年	後期	
	日本美術史Ⅰ		2	2年	前期	
	日本美術史Ⅱ		2	2年	後期	
	現代美術史Ⅰ		2	2年	前期	
	現代美術史Ⅱ		2	2年	後期	
	版画制作演習		2	2年	後期	
	絵画論		2	2年	後期	
	アートマネージメント概論		2	2年	後期	㊦
	アーティスト・セルフマネージメント概論		2	2年	後期	
	美学Ⅰ		2	2年	前期	
	美学Ⅱ		2	2年	後期	
	文化財学研究		2	3年	前期	
	彫刻概論		2	3年	前期	注6
	東洋美術史Ⅰ		2	3年	前期	
	東洋美術史Ⅱ		2	3年	後期	
現代美術論		2	3年	後期		

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門基礎科目	地域実践演習		1	3年	通年	Ⓓ
	芸術と知的財産権		1	3年	第3ターム	
	美学美術史研究		2	2～4年	通年	
	造形応用研究Ⅰ		2	1～4年	通年	Ⓓ
	造形応用研究Ⅱ		2	2～4年	通年	Ⓓ

注4 「美術解剖学Ⅰ」「美術解剖学Ⅱ」は、美術学科彫刻専攻の学生は履修することが望ましい。

注5 「デザイン概論」「工芸概論」「色彩論」「図法及び製図」は選択科目であるが、デザイン工芸学科の学生は履修することが望ましい。

注6 美術学科彫刻専攻の学生は、この科目ではなく、専門科目の「彫刻論（古典研究を含む。）」（必修）を履修すること。

特別聴講生対象科目

科目区分	授業科目名	単位数 (自由単位)	開設年次	開設学期	備考
専門基礎科目	専門演習Ⅰ	3	1～4年	通年	
	専門演習Ⅱ	3	1～4年	通年	
	専門演習Ⅲ	3	1～4年	通年	
	専門演習Ⅳ	3	1～4年	通年	

専門科目

美術学科 日本画専攻

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門基礎科目	工芸制作A（演習）		2	2年	前期	
専門科目	日本画実習ⅠA	4		1年	前期	
	日本画実習ⅠB	4		1年	後期	
	材料実習Ⅰ	2		1年	前期	
	デッサン実習Ⅰ	2		1年	後期	
	構成演習Ⅰ（平面）	2		1年	後期	
	日本画実習ⅡA	6		2年	前期	
	日本画実習ⅡB	4		2年	後期	
	デッサン実習Ⅱ	2		2年	前期	
	構成演習Ⅱ（平面）	1		2年	後期	
	材料実習Ⅱ（金属材料）	2		2年	後期	
	彫塑演習	2		2年	後期	
	日本画実習ⅢA	6		3年	前期	
	日本画実習ⅢB	4		3年	後期	
	古美術研究（演習）	6		3年	通年	
	デッサン実習Ⅲ	2		3年	後期	
	材料実習Ⅲ	2		3年	前期	
	構成実習（平面）	2		3年	後期	
	日本画実習Ⅳ	10		4年	通年	
	絵画論演習	2		4年	後期	
	技法演習（裏打技法）	2		4年	前期	
卒業制作（演習）	9		4年	後期		

美術学科 油絵専攻

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門基礎科目	工芸制作A (演習)		2	2年	前期	
専門科目	油絵基礎演習	2		1年	前期	
	デッサン実習 I	4		1年	前期	
	構成演習 I	2		1年	前期	
	油絵実習 I	4		1年	後期	
	彫塑演習	2		1年	後期	
	版画制作実習 I	2		1年	後期	
	油絵実習 II A	5		2年	前期	
	版画制作実習 II	3		2年	前期	
	学外演習	2		2年	後期	
	油絵実習 II B	2		2年	後期	
	デッサン実習 II	2		2年	後期	
	構成演習 II	2		2年	後期	
	油絵材料・技法演習 (古典技法)	2		2年	後期	
	古美術研究 (演習)	6		3年	通年	
	構成演習 III	2		3年	前期	
	油絵実習 III A	6		3年	前期	
	デッサン演習 III	2		3年	後期	
	油絵実習 III B	6		3年	後期	
	油絵実習 IV A	6		4年	前期	
	卒業制作A (演習)	4		4年	前期	
油絵実習 IV B	6		4年	後期		
卒業制作B (演習)	4		4年	後期		

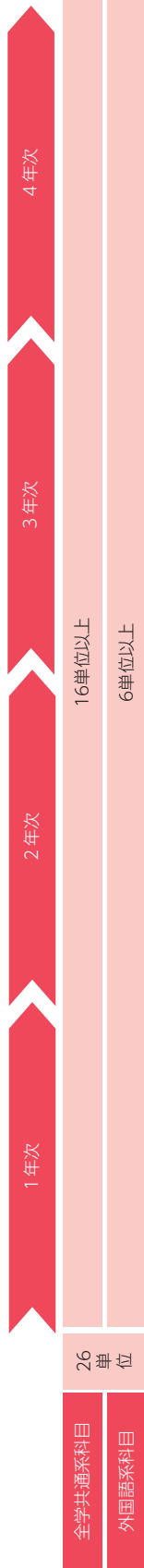
美術学科 彫刻専攻

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門基礎科目	工芸制作A (演習)		2	2年	前期	
専門科目	彫刻実習Ⅰ	8		1年	通年	
	デッサン実習Ⅰ	2		1年	通年	
	構成演習Ⅰ	2		1年	前期	
	実材制作基礎演習 (工芸制作を含む。)	4		1年	後期	
	彫刻実習ⅡA	6		2年	前期	
	彫刻実習ⅡB	4		2年	後期	
	デッサン実習Ⅱ	2		2年	後期	
	実材制作実習Ⅰ	2		2年	前期	
	構成実習Ⅱ (平面・立体)	2		2年	後期	
	彫刻実習ⅢA	6		3年	前期	
	彫刻実習ⅢB	4		3年	後期	
	古美術研究 (演習)	6		3年	通年	
	実材制作実習Ⅱ	2		3年	後期	
	彫刻論	2		3年	前期	
	構成実習Ⅲ (立体)	2		3年	後期	
	デッサン実習Ⅲ	2		3年	前期	
	彫刻実習Ⅳ	10		4年	通年	
卒業制作	10		4年	通年		

デザイン工芸学科

科目区分	授業科目名	単位数		開設年次	開設学期	備考
		必修	選択			
専門基礎科目	工芸制作B (演習)		2	2年	前期	
専門科目	造形実習ⅠA	4		1年	前期	
	描出演習Ⅰ	2		1年	後期	
	造形実習ⅠB	4		1年	後期	
	形体演習Ⅰ	2		1年	前期	
	総合表現研究 (演習)	2		2年	通年	
	造形実習ⅡA	6		2年	前期	
	形体演習Ⅱ	2		2年	前期	
	造形実習ⅡB	6		2年	後期	
	描出演習Ⅱ	2		2年	後期	
	古美術研究 (演習)	4		3年	通年	
	テーマ研究 (演習)	6		3年	通年	
	造形実習ⅢA	6		3年	前期	
	造形実習ⅢB	6		3年	後期	
	造形研究 (演習)	12		4年	前期	
	卒業制作 (演習)	12		4年	後期	

芸術学部 カリキュラム全体イメージ図



1年次		2年次		3年次		4年次	
26 単位				16単位以上			
22 単位				6単位以上			
全学共通系科目							
外国語系科目							
専門基礎科目	<p>現代美術演習Ⅰ デザイン概論 工芸概論 絵画材料論 美術解剖学Ⅰ 美術解剖学Ⅱ</p> <p>油絵入門 日本画入門 色彩論 造形応用研究Ⅰ</p> <p>図法及び概図 材料技法演習(木工) 材料技法演習(塗装) 現代美術演習Ⅱ 芸術工学 工芸材料概説 写真/映像概論 西洋美術史Ⅰ 西洋美術史Ⅱ 日本美術史Ⅰ 日本美術史Ⅱ</p>	<p>現代美術史Ⅰ 現代美術史Ⅱ 版画制作演習 絵画論 アートマネジメント概論 アートマネジメント概論 セルリアムネージメント概論 美術Ⅰ 美術Ⅱ 造形応用研究Ⅱ</p>	<p>文化財学研究 彫刻概論 東洋美術史Ⅰ 東洋美術史Ⅱ 現代美術論 地域実践演習 芸術と知的財産権</p>	<p>日本画実習ⅠA 日本画実習ⅠB 材料実習Ⅰ テッサン実習Ⅰ(平面) 構成演習Ⅰ(平面)</p>	<p>日本画実習ⅡA 日本画実習ⅡB テッサン実習Ⅱ 構成演習Ⅱ(平面) 材料実習Ⅱ(金属材料) 彫塑演習</p>	<p>日本画実習ⅢA 日本画実習ⅢB 古美術研究(演習) テッサン実習Ⅲ 材料実習Ⅲ 構成実習(平面)</p>	<p>日本画実習Ⅳ 絵画論演習 技法演習(裏打技法) 卒業制作(演習)</p>
専門科目	日本画	<p>油絵基礎演習Ⅰ テッサン実習Ⅰ 構成演習Ⅰ 油絵実習Ⅰ 彫塑演習 版画制作実習Ⅰ</p>	<p>油絵実習ⅡA 版画制作実習Ⅱ 字外演習 油絵実習ⅡB テッサン実習Ⅱ 構成演習Ⅱ 油絵材料・技法演習(古典技法)</p>	<p>古美術研究(演習) 構成演習Ⅲ 油絵実習ⅢA テッサン演習Ⅲ 油絵実習ⅢB</p>	<p>油絵実習ⅣA 卒業制作A(演習) 油絵実習ⅣB 卒業制作B(演習)</p>	<p>彫刻実習Ⅳ 卒業制作</p>	<p>造形研究(演習) 卒業制作(演習)</p>
	美術学科	<p>彫刻実習Ⅰ テッサン実習Ⅰ 構成演習Ⅰ 実材料制作実習Ⅰ 実材料制作基礎演習(工芸制作を含む。)</p>	<p>彫刻実習ⅡA 彫刻実習ⅡB テッサン実習Ⅱ 実材料制作実習Ⅱ 構成実習Ⅱ(平面・立体)</p>	<p>彫刻実習ⅢA 彫刻実習ⅢB 古美術研究(演習) 実材料制作実習Ⅲ 彫刻論(古典研究を含む。) 構成実習Ⅲ(立体) テッサン実習Ⅲ</p>	<p>彫刻実習Ⅳ 卒業制作</p>	<p>造形研究(演習) 卒業制作(演習)</p>	
	デザイン工芸学科	<p>造形実習ⅠA 描出演習Ⅰ 造形実習ⅠB 形体演習Ⅰ</p>	<p>総合表現研究(演習) 造形実習ⅡA 形体演習Ⅱ 造形実習ⅡB 描出演習Ⅱ</p>	<p>古美術研究(演習) テーマ研究(演習) 造形実習ⅢA 造形実習ⅢB</p>	<p>造形研究(演習) 卒業制作(演習)</p>	<p>造形研究(演習) 卒業制作(演習)</p>	

Q & A



Q：専門基礎科目の卒業要件単位は22単位となっていますが、22単位を超えて単位を修得した場合、どうなりますか。

A：卒業要件単位としては22単位までしか加算されません。要件を超えて修得した単位は、いちぼる（UNIPA）の「成績照会」画面で「要件超過単位」に加算されます。



Q：全学共通科目と外国語系科目はいつまでに単位修得すればよいですか。

A：芸術学部は3年次以降、実習、演習の授業が忙しくなります。いずれも早いうちに単位修得することをおすすめします。



Q：いちぼる（UNIPA）の「履修登録」画面で、自身では登録していないのに画面に表示される授業があります。また、画面に選択肢として表示されない授業もあります。

A：クラス分けのある次の授業は自動反映されています。再履修の場合は、所定の手続きをおこなうと履修登録期間後に反映されます。手続きの詳細は、いちぼる（UNIPA）の掲示やガイダンス資料で確認しましょう。

- ・ 3学部合同基礎演習
- ・ 英語応用演習Ⅰ～Ⅳ
- ・ 英語総合演習Ⅰ～Ⅳ



教員養成課程

教員を目指す人へ

教育職員免許状の取得を希望する人は、本学を卒業するために必要な単位を修得し、かつ、教育職員免許法の定めるところにより所定の単位を修得する必要があります。また、いちぼる（UNIPA）により希望資格登録を行わなければなりません。

1. 免許状の種類

学部	学科	免許状の種類	
		中学校教諭一種免許状 (中一種免)	高等学校教諭一種免許状 (高一種免)
国際学部	国際学科	外国語（英語）	外国語（英語）
		社会	地理歴史、公民
情報科学部	情報工学科、知能工学科、システム工学科		数学、情報
	医用情報学科		情報
芸術学部	美術学科 日本画専攻、油絵専攻、彫刻専攻	美術	美術
	デザイン工芸学科	美術	美術、工芸

2. 免許状取得要件と4年間のスケジュール

免許状取得には教職・教科に関する科目等（①～④）を履修する必要があり、具体的な科目は「教育職員免許状受領資格取得関係科目表」（87～104ページ）を確認してください。

各科目の「開設年次」は、当該科目を履修するのに適切な年次を示しています。下年次履修や再履修をすることもできますが、授業の時間割が重複するなどの不利益が生じる場合があります。教職課程を履修する学生は、このことに十分留意し、配当年次に授業を履修するようにしてください。

	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業
教職・教科に関する科目等の履修	①免許法施行規則第66条の6に定める科目（8単位） ②教育の基礎的理解に関する科目等（中一種免27単位、高一種免23単位） ③大学が独自に設定する科目（中一種免4単位、高一種免12単位） ④教科及び教科の指導法に関する科目（中一種免28単位、高一種免24単位）				基礎資格 ※ 学士の学位
介護等体験 ※			学内事前指導 合同事前指導 画前指導 介護等体験 社会福祉施設5日間 特別支援学校2日間		
教育実習			事前指導① 出身中学校又は高等学校に内諾依頼	事前指導② 教育実習 事後指導	
教員免許状一括申請				教員免許状一括申請	教員免許状交付

※ 中一種免取得希望者 必須

3. 介護等体験について

中学校教諭一種免許状取得のための必要要件として、所定の単位の修得以外に、法令により、介護等体験が義務づけられています（介護等体験は授業ではありません。）。

介護等体験の概要は以下のとおりです。

〈趣旨〉

「義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する」ことを目的としています。

〈内容〉

具体的な体験内容は、受入れ学校・施設ごとに異なります。特別支援学校の児童等や高齢者等の施設利用者に対する介護、介助のほか、障がい者等の話し相手、散歩の付き添い、掃除や洗濯などの職員業務の補助といった、幅広い体験内容が想定されています。

〈介護等体験施設の決定〉

介護等体験は大学がとりまとめて申込手続きをします（学生個人で直接申込することはできません）。特別支援学校の場合は広島県教育委員会経由、社会福祉施設の場合は広島県社会福祉協議会を経由して、実施施設が決定します。

〈実施年次〉

教育実習前年度、原則3年次とします。

〈体験時期〉

通常、7月から12月に行われます。日程は、受入れ学校・施設側の都合により決定されますので、学生本人が体験時期を希望することはできません。

〈期間〉

免許状申請時までに7日間以上の体験が必要です。本学における体験期間7日間の内訳は、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間です。

〈事前指導〉

中一種免の取得を希望する学生は、学内事前指導に必ず出席し、必要な手続きを行ってください。

〈体験証明書〉

介護等体験後には証明書が発行されます。この証明書は、中一種免の教育職員免許状申請時に必要となります。受入れ学校・施設から受け取った場合には、体験終了後1週間以内に事務局教務グループに提出してください。

4. 介護等体験のスケジュール

時期（予定）	年次	行事	内容
2028年2月	2年次	介護等体験学内事前指導	・介護等体験の説明・申込
2028年4月	3年次	健康診断の受診	・学内で受診（学外は自費で受診）
2028年4月	3年次	介護等体験ガイダンス	・申込書、学生個人票の記入 ・体験費用の納入（1万2千円程度）
2028年5月	3年次	介護等体験合同事前指導	・広島地区大学合同事前指導
2028年6月～7月	3年次	介護等体験直前指導	・外部講師による講演
2028年7月～12月	3年次	介護等体験	・特別支援学校（2日間）及び社会福祉施設（5日間）での介護等体験

※別途、介護等体験のための予防接種、各種検査、交通費等は個人で負担します。

5. 教育実習について

教育実習は、観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会です。

教育実習の概要は以下のとおりです。

〈実施年次〉

原則4年次とします。

〈受講条件〉

4年次に教育実習を受講するためには、3年次末までに以下の受講条件を満たす必要があります。

科目区分	中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状
②教育の基礎的理解に関する科目等	「教師論」、「教育原理」を含む 12単位以上修得	「教師論」、「教育原理」を含む 10単位以上修得
④教科及び教科の指導法に関する科目	実習教科の「教科教育法」を含む 18単位以上修得	実習教科の「教科教育法」を含む 20単位以上修得

6. 教職課程のスケジュール

時期（予定）	年次	行事	内容
2026年以降 毎年度前期及び後期	1～4年次	希望資格登録	・原則、履修登録期間中にいちぼる (UNIPA)にて登録
2027年度後期	2年次	履修カルテガイダンス	・履修カルテの説明・作成 ※3年次、4年次にも教職科目講義中 に適宜ガイダンスが行われます
2028年2月	2年次	教育実習事前指導①	・外部講師による講演
2028年4月	3年次	内諾ガイダンス	・教育実習の内諾申込の方法説明
2028年5月～8月末	3年次	教育実習校へ内諾申込	・各自母校を訪問し、教育実習申込
2029年4月	4年次	健康診断の受診	・学内で受診（学外は自費で受診）
2029年4月	4年次	教育実習事前指導②	・教育実習簿の受取 ・教育実習費の納入（3千円程度）※
2029年5月～	4年次	教育実習	2週間（高一種免希望者）又は3週間 （中一種免希望者）の教育実習
2029年10月	4年次	教員免許状申請ガイダンス	・申請方法の説明 ・免許状申請手数料（3,400円/件） の納入
		教育実習事後指導	・教育実習の報告等

※金額は予定であり、変更となる可能性があります。別途、教育実習校における教育実習費・教材費が発生した場合は、個人で負担します。

7. 教育職員免許状の申請について

大学で必要な単位を修得し、都道府県の教育委員会に申請することで教育職員免許状が授与されます。

3月卒業予定者については、本人に代わって本学が広島県教育委員会に申請します（一括申請）。4年次の教員免許状申請ガイダンスに必ず出席し、必要な手続きを行ってください。広島県教育委員会から授与された免許状は、卒業式当日に交付します。

教育職員免許状受領資格取得関係科目表

教育職員免許状を取得するためには、基礎資格（学士の学位を有すること）に加えて、「①教育職員免許法施行第66条の6に定める科目」を修得したうえで、「②教育の基礎的理解に関する科目等」、「③大学が独自に設定する科目」、「④教科及び教科の指導法に関する科目」から合計59単位以上修得する必要があります。（中学校教諭一種免許状にあっては、「介護等体験」も必要です。）

※最低修得単位数を超えて修得した単位は「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができます。

免許法施行規則に定める科目区分等			必要単位数等					
科目		各科目に含めることが必要な事項	中一種免		高一種免		合計	
全学部 共通	①教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	8	2	8	8	
		体育	2		2			
		外国語コミュニケーション	2		2			
		数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2		2			
	②教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	10	27	10	23	59	
		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10		8			
		教育実践に関する科目	7		5			
	③大学が独自に設定する科目	大学が独自に設定する科目	4	4	12	12		
	学部別	④教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	20	28	20		24
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			8	4				
国際学部・芸術学部	介護等体験		要 (1週間)	—	不要	—		—
全学部 共通	教育実習		要 (3週間)	5	要 (2週間)	3		—

①教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目				中一種免		高一種免		備考
科目区分	最低修得単位数	授業科目名	単位数	開設年次	学期	必修	選択	必修	選択	
日本国憲法	2	法学（日本国憲法）	2	1・2年	前期 後期	2		2		前期：国際学部 後期：情報科学部・芸術学部
体育	2	健康科学	2	1年	前期	2		2		左記4科目から 2単位以上 学部卒業要件を 満たせば充足。
		心の健康・身体の健康	2	1・2年	前期					
		体育実技Ⅰ	1	1年	前期					
		体育実技Ⅱ	1	1年	後期					
外国語コミュニケーション	2	英語総合演習Ⅰ	1	1年	前期	2		2		学部卒業要件を 満たせば充足。
		英語総合演習Ⅱ	1	1年	後期					
		英語総合演習Ⅲ	1	2年	前期					
		英語総合演習Ⅳ	1	2年	後期					
		英語応用演習Ⅰ	1	1年	前期					
		英語応用演習Ⅱ	1	1年	後期					
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報活用基礎	2	1年	前期	2		2		学部卒業要件を 満たせば充足。
	8	必修合計				8		8		

②教育の基礎的理解に関する科目等

※卒業要件に含まれない

免許法施行規則に定める科目区分等		中 種	高 種	左記に対応する本学の開設授業科目			中一 種免		高一 種免		
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得 単位数		授業科目名	単 位 数	開 設 年 次	学 期	必 修	選 択	必 修	選 択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	2	2年	前期	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)			教師論	2	1年	後期	2		2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連帯及び学校安全への対応を含む。)			教育経営学	2	3年	前期	2		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2	2年	後期	2		2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	1	3年	第1ターム	1		1	
	教育課程の意義及び構成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	1	2年	第3ターム	1		1	
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育論	2	2年	後期	2			
	総合的な学習の時間の指導法 (高校は「総合的な探究の時間の指導法」)			総合的な学習の時間論	1	2年	第4ターム	1		1	
	特別活動の指導法			特別活動論	1	3年	第2ターム	1		1	
	教育の方法及び技術			教育方法・技術論	1	2年	第3ターム	1		1	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			情報通信技術を活用した教育の理論	1	2年	第4ターム	1		1	
	生徒指導の理論及び方法			生徒・進路指導論	2	3年	前期	2		2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			教育相談論	2	2年	前期	2		2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実習 I	3	4年	通年	3		3	
				教育実習 II	2	4年	通年	2			2
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(中等)A(国際)	2	4年	後期	2		2	
				教職実践演習(中等)B(情報)	2	4年	後期				
				教職実践演習(中等)C(芸術)	2	4年	後期				
		27	23	必修合計				27		23	

③大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		中 種	高 種	左記に対応する本学の開設授業科目			中一 種免		高一 種免		備考	
科目区分	最低修得 単位数			授業科目名	単 位 数	開 設 年 次	学 期	必 修	選 択	必 修		選 択
大学が独自に設定する科目	4	12		学校インターンシップ	2	2~4年	通年		2		2	国際学部、芸術学部のみ履修可
				教職特講	2	3年	後期		2		2	
				道徳教育論	2	2年	後期				2	
	4	12		選択合計					4		6	

※「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」において、最低単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に算入することができる。

④教科及び教科の指導法に関する科目 (国際学部)

国際学科

(1)免許種：中学校教諭一種免許状 (英語)、高等学校教諭一種免許状 (英語)

免許法施行規則に定める科目区分等		中 種	高 種	左記に対応する本学の開設授業科目			中一種免		高一種免		
科目区分	各科目に含めることが必要事項	最低修得単位数		授業科目名	開設年次	学期	必修	選択	必修	選択	
教科に関する専門的事項	英語学	20	20	英語学概論Ⅰ	3年	前期	2		2		
				英語学概論Ⅱ	3年	後期	2		2		
				英文法論	3年	前期		2		2	
	英語文学			英米文学概論Ⅰ	3年	前期	2		2		
				英米文学概論Ⅱ	3年	後期	2		2		
				Special Lecture in British and American LiteratureⅠ	3年	前期		2		2	
				Special Lecture in British and American LiteratureⅡ	3年	後期		2		2	
				Communication in EnglishⅠ	3年	前期	1		1		
				Communication in EnglishⅡ	3年	後期	1		1		
	英語コミュニケーション			時事英語	3年	前期		2		2	
				英語聴解法	3年	後期		2		2	
				翻訳論Ⅰ	2年	前期		2		2	
				翻訳論Ⅱ	2年	後期		2		2	
				英文構成法Ⅰ	3年	前期		2		2	
				英文構成法Ⅱ	3年	後期		2		2	
				英語スキルアップⅠ	2年	前期		2		2	
				英語スキルアップⅡ	2年	後期		2		2	
				異文化理解	イギリス文化論Ⅰ	2年	前期	2		2	
					イギリス文化論Ⅱ	2年	後期	2		2	
	American CultureⅠ				2年	前期	2		2		
American CultureⅡ	2年	後期	2			2					
コミュニケーション技法論Ⅰ	2年	前期			2		2				
コミュニケーション技法論Ⅱ	2年	後期			2		2				
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。) ※卒業要件単位にはなりません	8	4	教科教育法 (英語) AⅠ	2年	前期	2			2		
			教科教育法 (英語) AⅡ	2年	後期	2			2		
			教科教育法 (英語) BⅠ	3年	前期	2		2			
			教科教育法 (英語) BⅡ	3年	後期	2		2			
		28	24	必修合計			26		22		

(2)免許種：中学校教諭一種免許状（社会）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目			中一種免		備考	
科目 区分	各科目に 含めることが 必要事項	最低修得 単位数	授業科目名	開設 年次	学期	必修	選択		
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	20	日本史概論Ⅰ	1年	後期	2			
			日本史概論Ⅱ	2年	後期	2			
			世界史概論Ⅰ	2年	前期	2			
			世界史概論Ⅱ	2年	後期	2			
			国際関係史（ロシア）Ⅰ	3年	前期		2		
			国際関係史（日本）Ⅰ	3年	前期		2		
			日本文化史Ⅰ	1年	後期		2		
			東南アジア研究	2年	後期		2		
			フランス文化論	2年	後期		2		
	地理学 (地誌を含む。)		地理学概論	1年	後期	2			
			比較地誌学	2年	前期	2			
			国際開発学	1年	後期		2		
			地域再生論	2年	後期		2		
			比較文化論Ⅰ	2年	前期		2		
			中東アラブ研究	2年	前期		2		
	「法律学、政治学」		アフリカ研究	1年	後期		2		
			国際政治理論	2年	後期		2	いずれか 1科目 選択必修	
			国際取引と法Ⅰ	3年	前期		2		
			国際関係論	1年	前期		2		
			国際政治学	2年	後期		2		
	「社会学、経済学」		平和研究Ⅰ	1年	後期		2		
			ミクロ経済学Ⅰ	1年	後期		2	いずれか 1科目 選択必修	
			マクロ経済学Ⅰ	1年	後期		2		
			環境社会学	2年	後期		2		
			基本統計学	2年	前期		2		
			金融論	2年	後期		2		
	「哲学、倫理学、宗教学」		経済政策論Ⅰ	2年	前期		2		
			社会文化思想史Ⅰ	1年	後期	2			
			エスニシティと宗教Ⅰ	2年	後期		2		
			共生の哲学Ⅰ	2年	前期		2		
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。) ※卒業要件 単位にはなりません		8	教科教育法（社会・地理歴史）Ⅰ	2年	後期	2		
				教科教育法（社会・地理歴史）Ⅱ	3年	後期	2		
教科教育法（社会・公民）Ⅰ		2年		前期	2				
教科教育法（社会・公民）Ⅱ		3年		前期	2				
	28	必修合計				26			

(3)免許種：高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目				高一種免	
科目区分	各科目に含めることが必要事項	最低修得単位数	授業科目名	開設年次	学期	必修	選択	
教科に関する専門的事項	日 本 史	20	日本史概論Ⅰ	1年	後期	2		
			日本史概論Ⅱ	2年	後期	2		
			国際関係史（日本）Ⅰ	3年	前期		2	
			国際関係史（日本）Ⅱ	3年	後期		2	
			日本政治論	2年	前期		2	
			国際日本学	3年	前期		2	
			日本文化史Ⅰ	1年	後期		2	
			日本文化史Ⅱ	2年	前期		2	
	外 国 史		世界史概論Ⅰ	2年	前期	2		
			世界史概論Ⅱ	2年	後期	2		
			国際関係史（アメリカ）Ⅰ	3年	前期		2	
			国際関係史（ロシア）Ⅰ	3年	前期		2	
			東南アジア研究	2年	後期		2	
			フランス文化論	2年	後期		2	
	人文地理学・自然地理学		地理学概論	1年	後期	2		
			国際開発学	1年	後期		2	
			地域再生論	2年	後期		2	
			比較文化論Ⅰ	2年	前期		2	
			比較民族学Ⅰ	3年	前期		2	
			比較地誌学	2年	前期	2		
地 誌	ラテンアメリカ研究Ⅰ	3年	前期		2			
	中東アラブ研究	2年	前期		2			
	アフリカ研究	1年	後期		2			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。) ※卒業要件単位にはなりません	4	教科教育法（社会・地理歴史）Ⅰ	2年	後期	2			
		教科教育法（社会・地理歴史）Ⅱ	3年	後期	2			
	24	必修合計				16		

(4)免許種：高等学校教諭一種免許状（公民）

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目			高一種免		備考
科目区分	各科目に含めることが必要事項	最低修得単位数	授業科目名	開設年次	学期	必修	選択	
教科に関する専門的事項	「法 律 学 (国際法を含む。)、 政 治 学 (国際政治を含む。)」	20	国際政治理論	2年	後期		2	いずれか 1科目 選択必修
			国際取引と法 I	3年	前期		2	
			国際関係論	1年	前期		2	
			国際安全保障論	2年	前期		2	
			国際政治学	2年	後期		2	
			開発政治論 I	3年	前期		2	
			開発政治論 II	3年	後期		2	
			平和研究 I	1年	後期		2	
			Peace and Conflict Studies	2年	前期		2	
	「社 会 学、 経 済 学 (国際経済を含む。)」		ミクロ経済学 I	1年	後期		2	いずれか 1科目 選択必修
			マクロ経済学 I	1年	後期		2	
			環境社会学	2年	後期		2	
			ミクロ経済学 II	2年	前期		2	
			マクロ経済学 II	2年	後期		2	
			基本統計学	2年	前期		2	
			金融論	2年	後期		2	
			経済政策論 I	2年	前期		2	
			経済政策論 II	2年	後期		2	
	開発社会学		2年	前期		2		
	「哲 倫 学、 宗 教 学、 心 理 学」		社会文化思想史 I	1年	後期		2	
			エスニシティと宗教 I	2年	後期		2	
			エスニシティと宗教 II	3年	前期		2	
			社会文化思想史 II	2年	前期		2	
共生の哲学 I		2年	前期		2			
共生の哲学 II		2年	後期		2			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。) ※卒業要件 単位にはなりません	4	教科教育法 (社会・公民) I	2年	前期		2		
		教科教育法 (社会・公民) II	3年	前期		2		
		24	必修合計			6		

④教科及び教科の指導法に関する科目 (情報科学部)

情報工学科

(1)免許種：高等学校教諭一種免許状 (数学)

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目			高一種免	
科目 区分	各科目に 含めることが 必要事項	最低取得 単位数	授業科目名	開設 年次	学期	必修	選択
教科に 関する 専門的 事項	代 数 学	20	線形代数学ⅠA	1年	第1ターム	1	
			線形代数学ⅠB	1年	第2ターム	1	
			線形代数学ⅡA	1年	第3ターム	1	
			線形代数学ⅡB	1年	第4ターム	1	
	幾 何 学		幾何学概論 ※卒業要件に含まれない	2年	第1ターム	2	
			離散数学	2年	第1ターム	2	
	解 析 学		解析学ⅠA	1年	第1ターム	1	
			解析学ⅠB	1年	第2ターム	1	
			解析学Ⅱ	1年	後期	2	
			常微分方程式	2年	第1ターム		2
	[確率論、統計学]		情報基礎数学	2年	第2ターム		2
			確率統計	2年	第1ターム	2	
			情報理論	3年	第2ターム		2
	コンピュ ータ		データ構造とアルゴリズムⅠ	1年	後期	2	
			プログラミングⅠ	1年	前期	2	
			プログラミングⅠ演習	1年	前期	1	
			実社会指向基礎数学	1年	後期		2
			コンピュータアーキテクチャ	2年	第4ターム		2
			コンピュータシステム	3年	第2ターム		2
デジタルデザイン		2年	第3ターム		2		
最適化技法	2年	第4ターム		2			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。) ※卒業要件 単位にはなりません	4	教科教育法 (数学)Ⅰ	3年	前期	2		
		教科教育法 (数学)Ⅱ	3年	後期	2		
	24	必修合計				23	

(2)免許種：高等学校教諭一種免許状（情報）

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する大学の開設授業科目			高一種免	
科目区分	各科目に含めることが必要事項	最低取得単位数	授業科目名	開設年次	学期	必修	選択
教科に関する専門的事項	情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	20	情報社会論 ※全学共通系科目	1・2年	後期	2	
			知的財産権	2～4年	前期	2	
			情報と職業	2～4年	前期	2	
	コンピュータ・情報処理		コンピュータ基礎	1年	前期	2	
			プログラミングⅡ	1年	後期	2	
			プログラミングⅡ演習	1年	後期	1	
			プログラミングⅢ	2年	第2ターム		2
			情報科学基礎実験a	2年	通年	1	
			情報科学基礎実験b	2年	通年	1	
			情報科学基礎実験c	2年	通年	1	
	情報システム		データ構造とアルゴリズムⅡ	2年	第2ターム		2
			情報システム開発	2年	第3ターム		2
			データベース	3年	第1ターム	2	
			オペレーティングシステム	2年	第3ターム	2	
	情報通信ネットワーク		システム開発実践	3年	通年		2
			情報ネットワーク	2年	第1ターム	2	
			情報セキュリティ基礎	2年	第3ターム		2
			デジタル信号処理	3年	第3ターム		2
			ネットワーク設計	3年	第1ターム		2
			ワイヤレスネットワーク	3年	第4ターム		2
マルチメディア表現・マルチメディア技術	ネットワークプロトコル	2年	第3ターム		2		
	コンピュータグラフィックスⅠ	2年	第4ターム	2			
	画像情報処理	3年	第4ターム	2			
	ネットワーク基盤技術	3年	第2ターム		2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）※卒業要件単位にはなりません	4	教科教育法（情報）Ⅰ	3年	前期	2		
		教科教育法（情報）Ⅱ	3年	後期	2		
		24	必修合計			28	

知能工学科

(1)免許種：高等学校教諭一種免許状（数学）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目			高一種免	
科目 区分	各科目に 含めることが 必要事項	最低修得 単位数	授業科目名	開設 年次	学期	必修	選択
教科に関する専門的事項	代 数 学	20	線形代数学ⅠA	1年	第1ターム	1	
			線形代数学ⅠB	1年	第2ターム	1	
			線形代数学ⅡA	1年	第3ターム	1	
			線形代数学ⅡB	1年	第4ターム	1	
	幾 何 学		幾何学概論 ※卒業要件に含まれない	2年	第1ターム	2	
			離散数学	2年	第1ターム	2	
			グラフ理論	2年	第4ターム		2
	解 析 学		パターン認識	3年	第2ターム		2
			解析学ⅠA	1年	第1ターム	1	
			解析学ⅠB	1年	第2ターム	1	
			解析学Ⅱ	1年	後期	2	
			常微分方程式	2年	第1ターム		2
			情報基礎数学	2年	第2ターム		2
			数値解析	2年	第4ターム		2
	「確率論、統計学」		確率統計	2年	第1ターム	2	
			情報理論	3年	第1ターム		2
	コンピュータ		オートマトンと形式言語	2年	第2ターム		2
			データ構造とアルゴリズムⅠ	1年	後期	2	
			プログラミングⅠ	1年	前期	2	
			プログラミングⅠ演習	1年	前期	1	
実社会指向基礎数学		1年	後期		2		
数理論理学		2年	第3ターム		2		
計算論		3年	第2ターム		2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。) ※卒業要件 単位にはなりません	4	教科教育法(数学)Ⅰ	3年	前期	2		
		教科教育法(数学)Ⅱ	3年	後期	2		
	24	必修合計				23	

(2)免許種：高等学校教諭一種免許状（情報）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目			高一種免	
科目 区分	各科目に 含めることが 必要事項	最低修得 単位数	授業科目名	開設 年次	学期	必修	選択
教科に 関する 専門的 事項	情報社会（職業 に関する内容を 含む）・情報倫理	20	情報社会論 ※全学共通系科目	1・2年	後期	2	
			知的財産権	2～4年	前期	2	
			情報と職業	2～3年	第3ターム	2	
	コンピュータ・ 情報処理		コンピュータ基礎	1年	前期	2	
			プログラミングⅡ	1年	後期	2	
			プログラミングⅡ演習	1年	後期	1	
			プログラミングⅢ	2年	第3ターム		2
			プログラミングⅢ演習	2年	第3ターム		1
			情報科学基礎実験a	2年	通年	1	
			情報科学基礎実験b	2年	通年	1	
			情報科学基礎実験c	2年	通年	1	
			データ構造とアルゴリズムⅡ	2年	第2ターム		2
			コンパイラ	3年	第2ターム		2
	情報システム		ソフトウェア工学概説	3年	第4ターム		2
			データベース	3年	第1ターム	2	
			オペレーティングシステム	2年	第4ターム	2	
			情報検索	3年	第3ターム		2
			人工知能	3年	第2ターム		2
	情報通信 ネットワーク		システム開発実践	3年	通年		2
			情報ネットワーク	2年	第1ターム	2	
マルチメディア 表現・マルチ メディア技術	情報セキュリティ基礎	2年	第3ターム		2		
	コンピュータグラフィックスⅠ	2年	第4ターム	2			
	画像情報処理	3年	第4ターム	2			
	デジタル信号処理	2年	第3ターム		2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。) ※卒業要件 単位にはなりません	コンピュータグラフィックスⅡ	3年	第3ターム		2		
	教科教育法（情報）Ⅰ	3年	前期	2			
	教科教育法（情報）Ⅱ	3年	後期	2			
	24	必修合計				28	

システム工学科

(1)免許種：高等学校教諭一種免許状（数学）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目			高一種免	
科目 区分	各科目に 含めることが 必要事項	最低修得 単位数	授業科目名	開設 年次	学期	必修	選択
教科に 関する 専門的 事項	代 数 学	20	線形代数学ⅠA	1年	第1ターム	1	
			線形代数学ⅠB	1年	第2ターム	1	
			線形代数学ⅡA	1年	第3ターム	1	
			線形代数学ⅡB	1年	第4ターム	1	
			情報代数学	3年	第1ターム		2
	幾 何 学		幾何学概論 ※卒業要件に含まれる	2年	第1ターム	2	
			離散数学	2年	第1ターム	2	
			応用幾何学	2年	第3ターム		2
			パターン認識	3年	第2ターム		2
	解 析 学		解析学ⅠA	1年	第1ターム	1	
			解析学ⅠB	1年	第2ターム	1	
			解析学Ⅱ	1年	後期	2	
			常微分方程式	2年	第1ターム		2
			情報基礎数学	2年	第2ターム		2
			数値計算法	3年	第1ターム		2
			偏微分方程式	3年	第4ターム		2
	[確率論、統計学]		確率統計	2年	第1ターム	2	
			情報理論	2年	第1ターム		2
			確率過程論	3年	第1ターム		2
	コンピュータ		データ構造とアルゴリズムⅠ	1年	後期	2	
プログラミングⅠ		1年	前期	2			
プログラミングⅠ演習		1年	前期	1			
実社会指向基礎数学		1年	後期		2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。) ※卒業要件 単位にはなりません	4	教科教育法(数学)Ⅰ	3年	前期	2		
		教科教育法(数学)Ⅱ	3年	後期	2		
		24	必修合計			23	

(2)免許種：高等学校教諭一種免許状（情報）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する大学の開設授業科目			高一種免	
科目 区分	各科目に 含めることが 必要事項	最低修得 単位数	授業科目名	開設 年次	学期	必修	選択
教科に関する専門的 事項	情報社会（職業に関する内容を 含む）・情報倫理	20	情報社会論 ※全学共通系科目	1・2年	後期	2	
			知的財産権	2～4年	前期	2	
	情報と職業		2～3年	第3ターム	2		
	コンピュータ・ 情報処理		コンピュータ基礎	1年	前期	2	
			プログラミングⅡ	1年	後期	2	
			プログラミングⅡ演習	1年	後期	1	
			プログラミングⅢ	2年	第1ターム		2
			プログラミングⅢ演習	2年	第2ターム		1
			情報科学基礎実験a	2年	通年	1	
			情報科学基礎実験b	2年	通年	1	
			情報科学基礎実験c	2年	通年	1	
			データ構造とアルゴリズムⅡ	2年	第2ターム		2
			電子回路	2年	第4ターム		2
			離散時間システム	2年	第4ターム		2
			制御工学Ⅰ	3年	第2ターム		2
			ソフトコンピューティング	3年	第4ターム		2
			ソフトウェア工学概説	3年	第3ターム		2
	情報システム		データベース	3年	第1ターム	2	
			オペレーティングシステム	2年	第3ターム	2	
			ヒューマンインタフェースⅠ	3年	第1ターム		2
			システム開発実践	3年	通年		2
	情報通信 ネットワーク		情報ネットワーク	2年	第1ターム	2	
			情報セキュリティ応用	3年	第4ターム		2
			デジタル無線通信	3年	第2ターム		2
	マルチメディア 表現・マルチ メディア技術		コンピュータグラフィックス	2年	第4ターム	2	
			画像情報処理	3年	第3ターム	2	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。) ※卒業要件 単位にはなりません		4	教科教育法（情報）Ⅰ	3年	前期	2
教科教育法（情報）Ⅱ		3年		後期	2		
		24	必修合計			28	

医用情報科学科

免許種：高等学校教諭一種免許状（情報）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目			高一種免	
科目 区分	各科目に 含めることが 必要事項	最低修得 単位数	授業科目名	開設 年次	学期	必修	選択
教科に 関する 専門的 事項	情報社会（職業 に関する内容を 含む）・情報倫理	20	情報社会論 ※全学共通系科目	1・2年	後期	2	
			知的財産権	2～4年	前期	2	
			情報と職業	2～3年	第3ターム	2	
	コンピュータ・ 情報処理		コンピュータ基礎	1年	前期	2	
			プログラミングⅡ	1年	後期	2	
			プログラミングⅡ演習	1年	後期	1	
			電気電子計測	3年	第2ターム		2
			情報科学基礎実験a	2年	通年	1	
			情報科学基礎実験b	2年	通年	1	
			情報科学基礎実験c	2年	通年	1	
	情報システム		データ構造とアルゴリズムⅡ	2年	第2ターム		2
			デジタル信号処理	3年	第1ターム		2
			データベース ※教職履修者のみ	3年	第1ターム	2	
	情報通信 ネットワーク		オペレーティングシステム ※教職履修者のみ	2年	第3ターム	2	
			情報ネットワーク	2年	第1ターム	2	
			情報セキュリティ基礎	2年	第3ターム		2
			ワイヤレスネットワーク ※教職履修者のみ	3年	第4ターム		2
各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。) ※卒業要件 単位にはなりません	医用画像処理	3年	第3ターム	2			
	教科教育法（情報）Ⅰ	3年	前期	2			
	教科教育法（情報）Ⅱ	3年	後期	2			
	24	必修合計				26	

④教科及び教科の指導法に関する科目 (芸術学部)

美術学科 日本画専攻

免許種：中学校教諭一種免許状 (美術)、高等学校教諭一種免許状 (美術)

免許法施行規則に定める科目区分等		中 種	高 種	左記に対応する本学の開設授業科目			中一種免		高一種免			
科目区分	各科目に含めることが必要事項	最低修得単位数		授業科目名	開設年次	学期	必修	選択	必修	選択		
教科に関する専門的事項	絵画 (映像メディア表現を含む。)	20	20	日本画実習ⅠA	1年	前期	4		4			
				日本画実習ⅠB	1年	後期	4		4			
				日本画実習ⅡA	2年	前期	6		6			
				日本画実習ⅡB	2年	後期	4		4			
				日本画実習ⅢA	3年	前期	6		6			
				日本画実習ⅢB	3年	後期	4		4			
				日本画実習Ⅳ	4年	通年	10		10			
				デッサン実習Ⅰ	1年	後期	2		2			
				デッサン実習Ⅱ	2年	前期	2		2			
				デッサン実習Ⅲ	3年	後期	2		2			
				材料実習Ⅰ	1年	前期	2		2			
				材料実習Ⅱ (金属材料)	2年	後期	2		2			
				材料実習Ⅲ	3年	前期	2		2			
				絵画論演習	4年	後期	2		2			
	技法演習 (裏打技法)	4年	前期	2		2						
	彫刻	20	20	彫塑演習	2年	後期	2		2			
				構成演習Ⅰ (平面)	1年	後期	2		2			
				構成演習Ⅱ (平面)	2年	後期	1		1			
	デザイン (映像メディア表現を含む。)	20	20	構成実習 (平面)	3年	後期	2		2			
				美学Ⅰ	2年	前期	2		2			
				美学Ⅱ	2年	後期	2		2			
				日本美術史Ⅰ	2年	前期	2		2			
				日本美術史Ⅱ	2年	後期	2		2			
				東洋美術史Ⅰ	3年	前期	2		2			
	美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	20	20	東洋美術史Ⅱ	3年	後期	2		2			
				西洋美術史Ⅰ	2年	前期	2		2			
				西洋美術史Ⅱ	2年	後期	2		2			
				美術解剖学Ⅰ	1年	前期		2		2		
美術解剖学Ⅱ				1年	後期		2		2			
材料技法演習 (木工)				2年	第3ターム	1						
材料技法演習 (塗装)				2年	第4ターム	1						
工芸制作A (演習)				2年	前期	2						
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。) ※卒業要件単位にはなりません				8	4	教科教育法 (美術) AⅠ	2年	前期	2			2
						教科教育法 (美術) AⅡ	2年	後期	2			2
	教科教育法 (美術) BⅠ	3年	前期			2		2				
	教科教育法 (美術) BⅡ	3年	後期			2		2				
		28	24	必修合計			87		81			

美術学科 油絵専攻

免許種：中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術）

免許法施行規則に定める科目区分等		中 一 種	高 一 種	左記に対応する本学の開設授業科目				中一 種免		高一 種免	
科目 区分	各科目に 含めることが 必要事項	最低修得 単位数		授業科目名	開設 年次	学期	必修	選択	必修	選択	
教科に関する専門的事項	絵 画 (映像メディア表現を含む。)	20	20	油絵基礎演習	1年	前期	2		2		
				油絵実習Ⅰ	1年	後期	4		4		
				油絵実習ⅡA	2年	前期	5		5		
				油絵実習ⅡB	2年	後期	2		2		
				油絵実習ⅢA	3年	前期	6		6		
				油絵実習ⅢB	3年	後期	6		6		
				油絵実習ⅣA	4年	前期	6		6		
				油絵実習ⅣB	4年	後期	6		6		
				デッサン実習Ⅰ	1年	前期	4		4		
				デッサン実習Ⅱ	2年	後期	2		2		
				デッサン実習Ⅲ	3年	後期	2		2		
				版画制作実習Ⅰ	1年	後期	2		2		
	版画制作実習Ⅱ	2年	前期	3		3					
	彫 刻			彫塑演習	1年	後期	2		2		
	デ ザ イ ン (映像メディア表現を含む。)			構成演習Ⅰ	1年	前期	2		2		
				構成演習Ⅱ	2年	後期	2		2		
				構成演習Ⅲ	3年	前期	2		2		
	美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の 伝統美術及びアジ アの美術を含む。)			美学Ⅰ	2年	前期	2		2		
				美学Ⅱ	2年	後期	2		2		
				日本美術史Ⅰ	2年	前期	2		2		
				日本美術史Ⅱ	2年	後期	2		2		
				東洋美術史Ⅰ	3年	前期	2		2		
				東洋美術史Ⅱ	3年	後期	2		2		
				西洋美術史Ⅰ	2年	前期	2		2		
				西洋美術史Ⅱ	2年	後期	2		2		
	工 芸			美術解剖学Ⅰ	1年	前期		2		2	
			美術解剖学Ⅱ	1年	後期		2		2		
			材料技法演習（木工）	2年	第3ターム		1				
			材料技法演習（塗装）	2年	第4ターム		1				
		工芸制作A（演習）	2年	前期	2						
各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。) ※卒業要件 単位にはなりません		8	4	教科教育法（美術）AⅠ	2年	前期	2			2	
	教科教育法（美術）AⅡ			2年	後期	2			2		
	教科教育法（美術）BⅠ			3年	前期	2			2		
	教科教育法（美術）BⅡ			3年	後期	2			2		
		28	24	必修合計				84		78	

美術学科 彫刻専攻

免許種：中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術）

免許法施行規則に定める科目区分等		中 一 種	高 一 種	左記に対応する本学の開設授業科目			中一 種免		高一 種免	
科目 区分	各科目に 含めることが 必要事項	最低修得 単位数		授業科目名	開設 年次	学期	必修	選択	必修	選択
教科に関する専門的事項	絵 画 (映像メディア表現を含む。)	20	20	デッサン実習Ⅰ	1年	通年	2		2	
				デッサン実習Ⅱ	2年	後期	2		2	
				デッサン実習Ⅲ	3年	前期	2		2	
	彫 刻			彫刻実習Ⅰ	1年	通年	8		8	
				彫刻実習ⅡA	2年	前期	6		6	
				彫刻実習ⅡB	2年	後期	4		4	
				彫刻実習ⅢA	3年	前期	6		6	
				彫刻実習ⅢB	3年	後期	4		4	
				彫刻実習Ⅳ	4年	通年	10		10	
				彫刻論	3年	前期	2		2	
				デ ザ イ ン (映像メディア表現を含む。)	構成演習Ⅰ	1年	前期	2		2
	構成演習Ⅱ (平面・立体)				2年	後期	2		2	
	構成演習Ⅲ (立体)				3年	後期	2		2	
	美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)			美学Ⅰ	2年	前期	2		2	
				美学Ⅱ	2年	後期	2		2	
				日本美術史Ⅰ	2年	前期	2		2	
				日本美術史Ⅱ	2年	後期	2		2	
				東洋美術史Ⅰ	3年	前期	2		2	
				東洋美術史Ⅱ	3年	後期	2		2	
				西洋美術史Ⅰ	2年	前期	2		2	
				西洋美術史Ⅱ	2年	後期	2		2	
				美術解剖学Ⅰ	1年	前期			2	2
				美術解剖学Ⅱ	1年	後期			2	2
	工 芸			実材制作基礎演習 (工芸制作を含む。)	1年	後期	4			
				実材制作実習Ⅰ	2年	前期	2			
				実材制作実習Ⅱ	3年	後期	2			
				材料技法演習 (木工)	2年	第3ターム			1	
				材料技法演習 (塗装)	2年	第4ターム			1	
工芸制作A (演習)		2年	前期			2				
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。) ※卒業要件単位にはなりません		教科教育法 (美術) AⅠ	2年	前期	2			2		
	教科教育法 (美術) AⅡ	2年	後期	2			2			
	教科教育法 (美術) BⅠ	3年	前期	2			2			
	教科教育法 (美術) BⅡ	3年	後期	2			2			
		28	24	必修合計			84		72	

デザイン工芸学科

(1)免許種：中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術）

免許法施行規則に定める科目区分等		中 一 種	高 一 種	左記に対応する本学の開設授業科目				中一 種免		高一 種免	
科目 区分	各科目に 含めることが 必要事項	最低修得 単位数		授業科目名	開設 年次	学期	必修	選択	必修	選択	
教科に 関する 専門的 事項	絵 画 (映像メディア 表現を含む。)	20	20	描出演習Ⅰ	1年	後期	2		2		
				描出演習Ⅱ	2年	後期	2		2		
	彫 刻			形体演習Ⅰ	1年	前期	2		2		
				形体演習Ⅱ	2年	前期	2		2		
	デ ザ イ ン (映像メディア 表現を含む。)			造形実習ⅠA	1年	前期	4		4		
				造形実習ⅠB	1年	後期	4		4		
				造形実習ⅢB	3年	後期	6		6		
	美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の 伝統美術及びアジ アの美術を含む。)			美学Ⅰ	2年	前期	2		2		
				美学Ⅱ	2年	後期	2		2		
				日本美術史Ⅰ	2年	前期	2		2		
				日本美術史Ⅱ	2年	後期	2		2		
				東洋美術史Ⅰ	3年	前期	2		2		
				東洋美術史Ⅱ	3年	後期	2		2		
				西洋美術史Ⅰ	2年	前期	2		2		
				西洋美術史Ⅱ	2年	後期	2		2		
				美術解剖学Ⅰ	1年	前期		2		2	
				美術解剖学Ⅱ	1年	後期		2		2	
	工 芸			造形実習ⅡA	2年	前期	6				
				造形実習ⅡB	2年	後期	6				
				造形実習ⅢA	3年	前期	6				
造形研究（演習）		4年	前期	12							
材料技法演習（木工）		2年	第3ターム		1						
材料技法演習（塗装）		2年	第4ターム		1						
工芸制作B（演習）		2年	前期		2						
各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。) ※卒業要件 単位にはなりません	教科教育法（美術）AⅠ	8	4	2年	前期	2			2		
	教科教育法（美術）AⅡ			2年	後期	2			2		
	教科教育法（美術）BⅠ			3年	前期	2			2		
	教科教育法（美術）BⅡ			3年	後期	2			2		
		28	24	必修合計				76		42	

(2)免許種：高等学校教諭一種免許状（工芸）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目			高一種免	
科目 区分	各科目に 含めることが 必要事項	最低修得 単位数	授業科目名	開設 年次	学期	必修	選択
教科に 関する 専門的 事項	図法・製図	20	図法及び製図	2年	後期	2	
	デザイン		造形実習ⅠA	1年	前期	4	
			造形実習ⅠB	1年	後期	4	
			造形実習ⅢA	3年	前期	6	
			造形実習ⅢB	3年	後期	6	
	工芸制作 (プロダクト制作 を含む。)		造形実習ⅡA	2年	前期	6	
			造形実習ⅡB	2年	後期	6	
			造形研究(演習)	4年	前期	12	
			工芸制作B(演習)	2年	前期	2	
	工芸理論・ デザイン理論・ 美術史 (鑑賞並びに日本 の伝統及びアジア の工芸を含む。)		工芸概論	1年	前期	2	
			デザイン概論	1年	前期	2	
			色彩論	1年	後期		2
			現代美術論	3年	後期		2
			工芸材料概説	2年	前期		2
			日本美術史Ⅰ	2年	前期	2	
			日本美術史Ⅱ	2年	後期	2	
			東洋美術史Ⅰ	3年	前期	2	
			東洋美術史Ⅱ	3年	後期	2	
			西洋美術史Ⅰ	2年	前期	2	
	西洋美術史Ⅱ		2年	後期	2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用 を含む。) ※卒業要件 単位にはなりません	4	教科教育法(工芸)Ⅰ	3年	前期	2		
		教科教育法(工芸)Ⅱ	3年	後期	2		
		24	必修合計			68	

Q & A



Q：教職課程を履修したいのですが、何をすればいいですか。

A：教育職員免許状の取得を目指す人は、「希望資格登録」を行う必要があります。希望資格登録のない学生は、資格取得関係科目の履修ができなかったり、教職や学芸員資格に関するお知らせ等が配信されなかったりします。履修登録期間内にいちぼる (UNIPA) の「履修登録」から「希望資格登録」の画面へ進んで必ず登録してください。また、この手引きの「教員養成課程」を参照し、教職科目を履修してください。



Q：国際学部の学生です。英語と社会、両方の免許を取得することはできますか。

A：国際学部国際学科において、中一種免（社会）と高一種免（地理歴史）、高一種免（公民）の組み合わせであれば同時に取得が可能ですが、英語の免許状を同時に取得することはできません。



Q：情報科学部の学生です。数学と情報、両方の免許を取得することはできますか。

A：情報工学科、知能工学科、システム工学科であれば、高一種免（数学）と高一種免（情報）の両方の取得が可能です。医用情報学科は、数学の免許が取得できませんので、学科選択の際は注意してください。



Q：芸術学部の学生です。美術学科で、工芸の免許を取得することはできますか。

A：美術学科は美術の免許しか取得できません。デザイン工芸学科であれば、美術の免許に加えて、高一種免（工芸）の取得が可能です。



Q：留学や休学を予定しています。教職課程は履修できますか。

A：教職課程のスケジュールどおりに進まないため、卒業までの4年間では免許の取得が難しい可能性があります。そのことを理解した上で履修することはかまいませんが、早い段階で事務局教務グループまで相談してください。



学芸員養成課程

学芸員を目指す人へ

本学を卒業するために必要な単位を修得し、かつ、博物館法に定めるところにより所定の単位を修得すれば、美術館等で学芸員の職に就くための学芸員資格を取得できます。希望者はいちぼる（UNIPA）で希望資格登録をしてください。

学芸員養成課程は芸術学部開設しており、学芸員資格取得関係科目については、下記を参照してください。

学芸員資格取得関係科目表

1. 学芸員資格取得関係科目表

博物館法に定める必修 選択の別及び科目の名称		本学が開講する 授業科目の名称	単位数	開設 年次	開設 学期	他学部履修の要否 (国際学部)
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論	2	1年	後期	不要
	博物館教育論	博物館教育論	2	3年	前期	要
	博物館資料論	博物館資料論	2	2年	後期	要
	博物館概論	博物館概論	2	2年	前期	要
	博物経営論	博物経営論	2	3年	後期	要
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	3年	後期	要
	博物館展示論	博物館展示論	2	3年	後期	要
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	3年	後期	要
	博物館実習	博物館実習（注1）	3	4年	通期	要
本学が定める科目	選択科目A 最低修得単位数 8単位	日本美術史Ⅰ	2	2年	前期	要
		日本美術史Ⅱ	2	2年	後期	要
		東洋美術史Ⅰ	2	3年	後期	要
		東洋美術史Ⅱ	2	3年	後期	要
		西洋美術史Ⅰ	2	2年	前期	要
		西洋美術史Ⅱ	2	2年	後期	要
	選択科目B 最低修得単位数 2単位	コンピュータとアート	2	2年	後期	不要
		工芸概論	2	1年	前期	要
		現代美術論	2	3年	後期	要
		工芸材料概説	2	2年	前期	要

(注1) 受講希望者多数の場合は、人数を制限する場合があります。

2. 博物館実習受講条件

4年次における「博物館実習」は、学芸員養成課程の最終段階における科目であり、関係科目で学んだ知識・技術や理論を活かして学修するものです。したがって「博物館実習」を履修するためには、3年次末までに下表に記載した受講条件をいずれも満たす必要があります。

受講条件	対象科目
① 3年次末までに単位修得	「生涯学習概論」、「博物館概論」、「博物館資料論」
② 3年次末までにすべて受講し、6単位以上修得 (ただし成績評価が欠席を原因とした「不可」の場合は、 受講したとみなされません。)	「博物館教育論」、「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、 「博物館展示論」、「博物館情報・メディア論」

※上記の条件①、②をすべて満たしていなければ、4年次に博物館実習の受講はできません。

Q & A



Q：学芸員資格取得の対象学部を教えてください。

A：国際学部と芸術学部の学生が対象です。国際学部の学生は、他学部履修により芸術学部の開設科目を履修すれば、取得することができます。



Q：学芸員養成課程を履修したいのですが、何をすればいいですか。

A：学芸員資格の取得を目指す人は、「希望資格登録」を行う必要があります。希望資格登録のない学生は、資格取得関係科目の履修ができなかったり、教職や学芸員資格に関するお知らせ等が配信されなかったりします。履修登録期間内にいちぼる（UNIPA）の「履修登録」から「希望資格登録」の画面へ進んで必ず登録してください。また、この手引きの「学芸員養成課程」を参照し、学芸員資格関係科目を履修してください。



Q：学芸員資格と教員免許の両方の取得はできますか。

A：可能です。ただし、配当年次以外で履修した場合は卒業時に資格取得が難しい場合があります。設定された配当年次で単位取得するようにしてください。



Q：留学を予定しています。4年間で学芸員資格は取得できますか。

A：4年次に博物館実習を受講するための条件があり、3年次末までに取得しなければならない単位があるため、4年間で学芸員資格の取得はできません。



附属施設等の利用について

開館・利用時間等は、各ホームページから最新情報を確認してください。
各施設の場所は、[キャンパスマップ](#)をご覧ください。

1	附属図書館	附属図書館オリジナルサイト (年間カレンダー) 電話 082-830-1508
2	語学センター	語学センターオリジナルサイト 電話 082-830-1509
3	情報統括センター	情報統括センターオリジナルサイト 電話 082-830-1511
4	心と身体の相談センター	心と身体の相談センター (大学ホームページ) 電話 082-830-1510
	保健室	応急手当、健康相談、健康チェック等 (本部棟1階)
	相談室	カウンセリング (本部棟1階)
5	法律相談	紙屋町法律相談センターでの法律相談 電話 082-830-1522 (事務局学生支援室)
6	売店	(学生会館2階)
	コンビニ	文房具、弁当、生活用品、書籍等 [生活彩家]、[紀伊国屋書店]
	画材店	画材等 [ピカソ画房]
7	学生食堂	定食、めん類、カレー等 (学生会館1階)
8	喫茶	軽食類、デザート類、コーヒー等 (学生会館1階)
9	駐 車 場	構内駐車場の利用申請 (大学ホームページ) 電話 082-830-1522 (事務局学生支援室)
10	キャッシュコーナー	ゆうちょ銀行ATM (学生会館2階)
11	集会室 、 体育館 、 テニスコート 、 グラウンド	利用申込が必要 電話 082-830-1522 (事務局学生支援室)

あとかき

みなさんが手に取っているこの「学修の手引き」は、2024年度に有志の学生と教職員と一緒にプロジェクトを立ち上げ、学生や教職員の声に向き合って作り上げたものです。今もプロジェクトで紡がれた思いを受け継ぎ、より分かりやすく、使いやすくなるようにと工夫を重ねています。

この取り組みは、みなさんの声があっこそ続いています。
「ここが分かりにくい」「こんな情報がほしい」など
気づいたことや困ったことがあれば、ぜひ教えてください。

▼フォームはこちらから

<https://forms.office.com/r/QNYisAFpj3>



国際学部・情報科学部・芸術学部の3学部のカラーを用いて、大学での学びを表現しました。各学部が専門分野を深めつつ、共通科目やプロジェクトを通じて互いに協力する様子をデザインに込めています。異なる分野の学生が刺激し合い、多様な学びが生まれる、活気あふれるキャンパスの雰囲気を感じ取れる表紙に仕上げました。



2026年度表紙コンテスト優秀賞
芸術学部 岡本 望心